訴訟法講義筆記

完

寫本

訴訟法筆記
第五百七十三號
第十二冊
完

第五號
第一架
第四

司法省
四三 第八三號
寄贈圖書文庫

司法省記錄之印

第一

訴訟法講義筆記 自第一 至第十

司法省

B500
B 3
1 2

訴訟法講義筆記

第二章　下等裁判所（初出裁判所及ヒ商法裁判所ヲ總テ云）

呼出ス事

第五十九條　人權ノ一ニ付テハ被告人其住所ノ裁判所ニ呼出サルヽ可シ若シ其住所ノ知レサルヽ時ハ寄居スル地ノ裁判所ニ呼出サルヽ可シ

一人權トハ專ラ身分ニ關シタルヿヲ云フニ非ス總テノ貸借授與等ノ義務人ニ對スルモノニシテ物ニ對スルモノニ非ス其目的ノ人ニアルヲ云フ

一原告人ノ住所ニ被告人ヲ呼出ス時ハ被告人ニ於テ多少ノ難儀ヲ蒙リ且種々ノ弊害ヲ生シ其事實ノ取調ニモ不都合多シ故ニ被告人ノ住所ノ裁判所ニ呼出スヿナリ

タトヘハ東京人ニテ長崎ノ人ヘ金ヲ貸シタリト訴フモノアラン其眞偽知ル可カラス然ルニ被告人ヲ東京ヘ呼出シ万一詐偽ナルキハ被告人ニ多少ノ費ヲ蒙ムラシム依テ原告人ノ方ヨリ被告人ノ地ヘ往クヿナレ遠路入費モ掛ルニヨリ右等ノ詐偽ヲ訴フヿヤク

司法省

被告人モ無益ノ害ヲ蒙ムルヿナシ故ニ被告人ノ住所ニ往キ其裁判ニ呼出スヿヲ原則ト定メタリ

一本文住所ノ知レサルトアルハ定マリタル住所ノナキヲ云フナリ

一原被雙方ノ住所隔絶スルヵ或ハ故障アル時ハ原告人自カラ被告人ノ住所ヘ行クニ及ハス被告人住所ノ代書人ニ申送リ之レニ托シテ訴訟ヲ為スヿナリ

若シ被告人数人アル時ハ原告人ノ擇ミニ從ヒ其中一人ノ住所ノ裁判所ニ呼出サル可シ

一被告数人アルトキ各裁判所ニテ裁判スルニ於テハ其裁判各々異ナリテ債主ノ為メニ不都合生ス故ニ原告人ノ撰ミニテ一ノ被告人ノ住所ノ裁判所ニ呼出スナリ　後ニ詳クナリ

物權ノ事ニ付テハ其物件所在ノ地ノ裁判所ニ呼出サル可シ

一物權トハ動産不動産ノ物件ヲ総テ云フナリ

一共本條ハ不動産ノミヲ指シテ云ヘリ

例ヘハ土地ヲ已レノ所有トスル訴又ハ其入

額ヲ已シニ収納セントスル訴等是シナリ

又土地侵奪ノ丁ニ付テ其地ヲ取返ス訴ハ即チ物権ナリ

一然レトモ失火洪水等ニテ土地ノ経界紛亂シタルニ因リ其経界ヲ定ムルニ當リ隣地所有者申合セヲ要スルニ其者之ヲ承諾セサル時之ヲ承諾セシムル訴ハ人権ニ属ス

一又甲長崎ニテ乙ニ千坪ノ地ヲ賣タリ然ルニ其地ハ長嵜ノ何ノ地ト定メ置カス後ニ甲ノ違約ニタルニ付乙ヨリ其違約ヲ訴フルハ人権ナリ

一近時佛蘭西ニ一例アリ巴里ノ人「アルゼリー」ニテ土地ヲ引渡スヘキ契約ヲ為シタリ然ルニ其契約ニ引渡スヘキ土地ヲ確定セス只「アルゼリー」ノ山ノ手ニテ土地千坪ヲ渡スヘシトノ丁ナリシカ後ニ其入分散トナリ終ニ其義務ヲ行フ能ハス依テ被告人ノ住所ヘ訴ヘ裁判トナリタリ是亦土地ニ関スル丁ナレ其人権ニ属スレハナリ

一動産ノ物件ニ付テハ何レノ裁判所ニ呼出ス

ヘキヿヲ記スヘキニ此條ニ於テ之ヲ記セサルハ是レ法律ノ欽ナリ本條ノ下ニ動産ノ物件ハ被告人所在ノ裁判所ニ呼出スヘキヿヲ增補スヘシ

人權ト物權ト相混シタル事ニ付テハ其物件所在ノ地ノ裁判所又ハ被告人住所ノ裁判所ニ呼出サル可シ

一人權ト物權ト混シタルトハタトヘハ家屋賣買ノ契約ヲ取極メタル上ハ買主其家ヲ現ニ受取ラスト雖ニ其契約ノ時ヨリ即チ其所有主ナリ然ルニ賣リ主引渡スヘキ期日ニ至リ其家ヲ明ケ渡サヽルニヨリ其違約ヲ訴フルハ人權トナリ又其家屋ヲ渡サヽルニ付其所有ノ權ヲ訴フルハ物權トナルノ類ナリ

一又未タ丁年ニ至ラサルモノハ人ト契約ヲ爲スノ權ナシ其契約ハ廢シテ可ナリ故ニ丁年者幼者ノ物ヲ買フ契約ヲナシタルニ付訴訟起ル時買主ハ契約ス可カラサル人ヨリ買ヒタル故不正ノ所爲トナル幼者ハ賣買スヘキノ權ナキニヨリ其契約ヲ取消ヘシトスヒ又其物件ハ已レ所有ナリトスフ

ノ類是人権ト物権ト相混スルモノナリ

一石ノ二権ヲ混スルトキハ原告人ノ撰ミニ任カセ物件所在ノ地ノ裁判所ニテモ又ハ被告人住所ノ裁判所ニテモ之ヲ呼出シテ妨ケナシトス

一賣買ニ於テハ約定シタル時即チ其所有ノ権甲ヨリ乙ニ移ルモノトス故ニ物ヲ受取ラスト雖モ買主即チ其物ノ所有主ナリ然シテ其物ノ定マラサル時ハ約定ノミニテ其所有主トスフ得サルナリ

司法省

一抑人権ト物権トヲ分ツハ裁判上都合ノ為メニ設ケタルモノナリ

一總テ義務ニ関スル訴ハ人権ナリ其義務ハ契約ヨリ生スルモ之レトリ法律上ヨリ生スルモ之レアリ

一總テ物ニ對スル訴ハ物権ナリ其物権ハ此物ヲ已レノ所有ト争フヨリ生スルモノリ其目的物ニ在ル上ヘ物件所在ノ裁判所ニ於テ裁判スルナリ

一不動産ニ限リ必ス其現在ノ土地ニ於テ裁判

ス動産ハ身ニ附屬スルモノトス故ニ被告人ノ裁判所ニ於テス

一人権物権ノ區別ヲ為シ又其一ケノ裁判所ニ定ルヿニ付テハ緊要ノヿアリ左ノ如シ

一原告人ノ多數ナルトキハ債主分派ノ場ニ至リ各其望ヲ充ツルヿ能ハサルモノナリ譬ヘハ數人各々三百万両ヲ貸シタルモノアリ然ルニ數ケ所ニテ之ヲ裁判スル時ハ一人ハ十ノ七八分ヲ取ルヿヲ得又一人ハ十ノ二三分ヲ得ルヿ能ハス必ス不公平ヲ生ス故ニ之ヲ一ケ所ニテ裁判シ以テ各其義務ノ高ニ循ヒ分派ノ公平ヲ得ルヲ要スル所以ナリ

一物ノ定マリタル約束ノ時譬ヘハ何地ノ何番何号ノ家ト確定セシトキハ則チ物権ニ屬ス故ニ其類ハ裁判権ヲ以テ其物ヲ差押ヘ取揚ルヲ得ル家資分散ノ時其財産中ニ加フルヲ得ス

一物ノ定マラサル約束ノトキハ物ナキカ如シ故ニ其違約ニ付損害ヲ生スルヿアレハ其償ヲ出サシムト雖モ家資分散ノトキハ其財産中

ニ加ヘラル可シ

一譬ヘハ米ヲ人ニ賣ルニ買主ニテ其米ニ符号ヲ記シタルノミニテ買主ノ未タ受取ラサル間ニ賣主分散トナリタル時ハ即チ買主ニテ之レヲ引取ルヿヲ得ル分散ノ時其財産中ニハ加フルヿヲ得ス

一又既ニ米ヲ買ヒタリト雖モ其米ニ符号ヲ記セサル中賣リ主分散トナリタル片ハ買入人之ヲ引取ルヿヲ得ス分散ノ時其財産中ニ加ヘラレ分派ヲ受ルナリ

司法省

一人権ニテ訴訟起リ物権ノヿニ渉ル共其訴訟ヲ甲ノ裁判所ヨリ乙ノ裁判所ニ移スヿナシ

タトヘハ此地ニテ空米ヲ賣ルモノアリ此地ノ裁判所ニテ取調ヘタルニ償フヘキ所有物ナシ却テ彼地ニハ土地アリ家屋アリ此時ハ此地ノ裁判所ヨリ言渡シタル書付ヲ原告人彼地ヘ持参シ使吏ノ手ヲ経テ時日ヲ定メ引渡スヿヲ命ス万一其時日ニ引渡サヽル時ハ彼地ノ使吏ノ権ヲ以テ取揚ルヿヲ得ル

ナリ

一若シ同上ノ場合ニ於テ米ノ渡ヲ得サル時双方承諾ノ上家屋地所等ヲ渡スヲ得ヘシ其時ハ証文ノ書替マテニテ済ムナリ即チ之レヲ義務ノ更改ト云　民法千二百七十一条以下見合

一万一其人分散ニナラントスル時ハ証文ヲ書替ヘ其ノ義務ノ更改ヲ為スヲ得ス

一本文其物件ノ上ニ「原告人ノ撰ミニ任セ」ト云フヲ補フヲ可シ是ハ亦タ律文ノ足ラサル所ト

司法省

一第五十九條第三項マテハ呼出シノ正則ナリ

此第四項ヨリ以下ハ呼出シノ変則ナリ

會社ノヲテハ其ノ會社ノ存續スル時間之ヲ設ケタル地ノ裁判所ニ呼出サル可シ

一會社ノ事ニ付テハ人権ニカヽルト雖モ必ス其會所ノアル地ニ於テ裁判ス

會社ニ其會所ノ定マラサルモノアリ此時ハ其社中ノ者ノ住所ノ裁判所ニ於テス是レ人権ノ正則ニ循フナリ

又本文存續スル時間トアリテ既ニ存續セサ

ル日ニ至リテハ前條ト同一ナリ

遺物相續ノ一ニ付其ノ分派ニ至ル迄ノ時間其相續人等ノ互ニ為ス訴訟及ヒ分派ノ前死者ノ債主ヨリ為シタル訴訟並ニ分派ノ裁判言渡ノ確定ニ至ル迄ノ時間遺囑ノ贈遺ヲ執行フ一ノ為メノ訴訟ニ付テハ其ノ遺物相續ヲ為ス可キ地ノ裁判所ニ呼出サル可シ

一遺物相續ノ事ニ付テ其未タ分派セサル間ハ死者ノ住所ノ裁判所ニ於テス此レ人權ノ本則ト異ナリ既ニ分派スレハ否ラス

司法省

一本文ニ分派スル迄ノ時間トアリ相續人數人モアルトキハ此儘ニテ可ナリ其一人ノトキハ差支ヘル文ナリ然レトモ相續人一人ナルトキハ右ノ時間ヲ得ルニ及ハス直ニ其相續人ノ住所裁判所ニ於テスルナリ

一相續人數人アルトキハ協議セシムル為メ又後日混乱ノ起ラサル為メニ其分派ニ至ル迄ノ時日ヲ延ハシ其死者ノ住所ノ裁判所ニ於テス

一人ノ時ハ協議ニ及ハス故ニ時間ヲ待タサ

ルナリ

然レトモ善ク此一節ニ注意スヘキヿアリ死者他人ヨリ預リ置クモノアル時ハ其預ケ人ヨリ取返スヿヲ為メノ訴ハ本則ニ循フナリ

一此一節三段ナリ第一「他人ヨリ相續人ニ對スル訴訟」第二死者ノ債主ヨリ相續人ニ對スル訴訟」第三遺囑ノ贈遺ヲ執行フ為メノ訴訟」ナリ

家資分散ノヿニ付テハ分散人住所ノ裁判所ニ呼出サルヘキヿ

司法省

一家資分散「フパイレー」（原語）トハ商人ノ上ニテ云フ通常人ノ身代限リハ家資分散トスハス財産抛棄トスフ「デコンフチーール」（原語）民法千二百六十五条以下見合

一商人家資分散ト決スレハ管財人「サンチック」（原語）ヲ定メ其者ニテ夫レ財産ノ處置ヲ為ス故ニ債主ヨリ管財人ニ掛リ訴訟ス然ルトキハ管財人ノ住所ニ呼出スヘキ筈ナレトモ変則ニテ其分散人ノ住所ノ裁判所ニ呼出スナリ

右管財人ハ債主ニテ撰ムナリ

一分散ヲナストキ一時ニ債主ノ集マルコトハ出来サルナリ故ニ商法裁判所ニテ假リノ管財人ヲ申付ケ置キ債主皆集マリタル上債主協議シテ本管財人ヲ立ツ

常人財産抛棄ハ管財人ヲ立ルコトナシ

一家資分散ハ人ニ金高ヲ押フルヲ止メタル以後ヲ云

一財産抛棄ハ已レノ所有スル諸般ノ財産ヲ悉ク義務ヲ得ヘキ債主ニ任カスルヲ云

民法千二百六十五条見合

司法省

一家資分散ニ付民事ニ関係シタル訴アルトキハ民事裁判所ニテ之ヲ裁判ス其債主ハ其裁判言渡書ヲ以テ管財人ニ遣ハシ分汎ヲ受ム

第三

第三十四

保証ノ事ニ付テハ主タル訴訟ヲ為シタル裁判所ニ呼出サル可シ

一此條ハ甚タ六ケ敷キ所ロナリ先ツ保証ノ事柄ヲ説カン

一保証トハ甲ト乙ト訴訟ヲナスニ甲ハ乙ニ勝タントスルニ付キ丙ノ一人ヲ頼ミ防禦

ヲナスヲ云フ

タトヘハ甲ニテ乙ヨリ金ヲ借ルトキハ債主アリ負債主アリソノ時ニ當リ別ニ請人（アコーヨン）ヲ設ケ後日債主ヨリ負債主ニ金ノ返済ヲ求ムルヿニヨリ訴訟トナル如キハ負債主ヨリス自カラ防クヘシ請人ヲ頼ミ防クノ理ナシ然ルニ債主ヨリ請人ニ對シテ債ヲ求ムルトキニ至リテハ請人ヨリ負債主ニ對シ防禦ヲ求ムルノ理アリ之レ即チ茲ニ謂フ所ノ保証ナリ

司法省

一債主東京ニアリ請人モ亦東京ニアリ負債主ハ西京ニアリソノ時債主ニテ便利ノ為メ請人ヲ相手取リテ訴フルトキハ請人ニテハ負債主ヲ呼ハサルヲ得ス是ニ於テ負債主ハ保証（カヲチー）ノ為メ東京裁判所ニ呼出サル可シ

一本則ナレハ原告人ハ負債主ノ西京ニ在ルヲ以テ西京ノ裁判所ニ訴フ可キヿナレトモ其主タル訴訟ハ債主ヨリ請人ヲ既ニ東京ニ訴ヘタルニ付負債主ハ東京ニ呼出サル

可シ

一負債主ヲ訴フルハ本則ナレトモ負債主ヲ訴フルモ債主ノ便利ニマカスト雖ハ債主ノ為メニ甚タ便利ニシテ負債主ハ不便利ナリト雖モ又負債主ノ便利ナル為メニ第百八十一條ニ補足スルモノアリ

一前文ニ云フ如キ訴訟ニ於テ債主ニテ好計ヲ以テ東京ニアル請人ヲ訴ヘタル時負債主右奸計ヲ覺リ旦リノ證アル時ハ負債主ノ住所ノ裁判所ヘ債主ヲ呼出スヿヲ得可シ

一タトヘハ西京ノ負債主ハ富人ナリ故ニ請人ヲ訴フルニ及ハス然ルニ東京ノ請人ヲ訴フルハ何カ奸計アリトス右ノ場合ニ於テハ其証アルヲ以テ負債主ノ住所ノ裁判所ヘ債主ヲ呼出スヿヲ得ル

一二人ニテ同ニク借リタルモノアリ債主ノ撰ニテ甲ノ住所ノ裁判所ニ訴フル時ハ乙ノ一人モ其裁判所ヘ出サルヿヲ得ヘ

一又一例ヲ擧ケンシ甲ニテ乙ノ家ヲ買ヒテ其家ノ所有主ナリト思フ黙ルニ丙ノ一人未リテ我レ其家ノ所有主ナリトスヒ其取戻シヲ訴フ此ノ訴ハ物權ナルニヨリ其物件所在ノ地ノ裁判所ニ訴フヘキ其時(買主甲)一人ニテ勝タハ宜シ若シ一人ニテ勝タサル(賣主乙)ヲ其裁判所ニ呼寄セノ見込アル件ハ防禦ヲ為サシムル之レ保証(カヲニチ)ナリ其時(賣主乙)(買主甲)主ニ對シ其訴ヲ救フヲ得サルトキハ買主ノ負トナリ其買ヒタル家ヲ丙ノ一人ニ渡スヿヲ言渡サル其時ニ買主ヨリ賣主ヲ相手取リ其價ノ取戻シヲ訴フレハ賣主其代價ヲ返還スヘキノ言渡ヲ受クルニテ一ト裁判済ムナリ然ルニ若シ其裁判ノ節買主其價ノ取戻シヲ願ハスシテ後日之ヲ訴フ時ハ人權ナルニ付其本則ニヨリ賣主住所ノ裁判所ヘ呼出サルヘシ

一前文ノ場合ニ於テ買主ニテ保証ノ為メ賣主ヲ呼ハスシテ裁判ヲ受ルハ無用ノ甚シキナリ萬一其訴ニ負ケタル後賣主ニテ

何故我ヲ呼ハサルヤ我レニ證書アリ我ヲ呼ヘハ負ケサルモノヲ今ニ至リテハ我ハ関セスト云フ件ハ此訴訟ハソレ切リニテ済ムナリ此ノ如キ訴ハ決シテ実地ニ於テハナキナリ万一之レアラハ此法ノ如ク裁判ス

證書ノ如ク執行フニ付キ別段住所ヲ擇ミタル時ハ民法第百十一条ニ循ヒ別段擇ミタル住所ノ裁判所又ハ被告人ノ真ノ住所ノ裁判所ニ呼出サル可シ

一証書ノ如ク執行フニ付キトイフ譯ノ誤リナリ條約等ノ事件ヲ執行フニ付ト改ム可シ

司法省

一住所ヲ撰ムトハ雙方同意ニヨリテ撰ムアリ又原告人ノ為メニ擇ムアリ被告人ノ為メニ擇ムアリ此条ニテハ原告人ノ便利ノ為メニ被告人ノ住所ヲ擇ムニ就テ言フ之レ本則ナリ

一又憂則アリ若シ被告人ノ便利ノ為メニ擇ムトキハ原告人ニテ他ノ裁判所ヘ訴出スルヿヲ得ス

一原告人ノ為メニ擇ミタルトキハ動カス可カラサルモノトセス被告人ノ為メニ擇ミタルモノハ動カス可カラサルモノトス

一又原告被告双方ノ為メ何レノ便利ナルヤ契約書ノ文意不分明ナルトキハ必ラス被告人便利ノ方ニ擇フ可シ之レ法律申明ノ本意ナリ民法千百六十二條見合

第六十條裁判所ニ管シタル官吏代書師使吏等ヲ云フ裁判所費用ノ償戻ヲ得ントスル時ハ其前其費用ノ生シタル裁判所ニ之ヲ出訴ス可シ

司法省

一是レ第五十九條ノツヽキニテ本則ニ違ヒタル一則ヲ擧クルナリ

一裁判所ニ管シタル官吏トハ使吏代書人ノ外書記官モ此中ニアリ但シ代言人ハ関セス

一代書人ハ重ニ原告人トナルソノ譯ハ頼マレタル節入費ヲ請取置クト缶モ多クハ不足スルヿアル故ナリ故ニ使吏代書師等ノ原告人トナル方ヨリ説クナリ

一通例ナレハ即チ被告人ヲ其住所ノ裁判所

ヘ呼出ス可キナレモ之レハソノ費用ノ生シタル裁判所ヘ呼出ス即チ変則ナリ

一然レモ能ク注意スヘシ人権ニ付テノ訴訟ハ必ラス被告人ノ裁判所ヘ訴フ被告人ノ裁判所ハ則チ費用ノ生シタル裁判所ナレハ自ツカラ正則ニ循フ譚ナリ若シ物権ニ付キタル訴訟ナレハ則チ本條ノ規則ニ循フ即チ変則ナリ

一又代書師等ノ被告人ニナル時ヲ云ハン即チ訴訟入費ヲ取リスキタル時ナリ

司法省

一代書師ハ裁判所ノ権限アリテ他ニ行クヿ能ハス故ニ代書師被告人ニナル片ハ則チソノ奉仕ノ裁判所ニ呼出サルヽナリ何トナレハ奉仕ノ裁判所ハ即チ本人ノ住所ニテ費用ノ生シタル裁判所ニ訴フルヿナレハ之レ即チ正則ナリ

一其裁判所ヘ訴ルノ故ハソノ訴訟事件ヲ取扱ヒテ能ク其事柄ノ分明ナレハナリ

一若シ代書師免職シテ他ニ住所ヲ占ムル後訴訟ノ起ル片ハ即チ以前奉仕ノ裁判所ヘ

ヘ呼出タサルヽナリ

一若シソノ代書師死去セシ後訴訟起リタル節ソノ子孫遺物相續分泒ノ済ミタルトキハ正則ナレハソノ子孫ノ各所ニ住スル裁判所ヘ訴訟スヘキナレトモ代書師ニ負キタル訴訟ユヘ即チソノ父ノ奉仕ノ地即チ裁判費用ノ生ミタル裁判所ヘ訴フルナリ

此ノ如ク変則多ケレトモ其変則中正則ノ方モ亦多シ

一第一ニ裁判費用ノ生ミタル裁判所ニ訴ノ

ル所以ハ其道理ヲ能ク知了ン居ルユヘ其裁判所ヘ訴フルヿナリ

一代書師謝金目録ノ常例アリト雖モ別段六ケ敷訴訟ナレハ幾分ノ謝金ヲ増シ与ヘルヿアリ此等モ此裁判所ニテ能ク其事柄ヲ知リ居ル故ナリ併シ此ノ理ハ拙劣ト思フナリ何トナレハ其取調以前ノ裁判官ニシテ能ク其顛末ヲ知リタルモノハ宜シケレトモ必ラス前ノ掛リノ裁判官トハ定メ難シ殊ニ巴理ノ如キハ別ニ裁判費用等ノ事件

ノミヲ取調アル為メノ裁判官アレハナリ」

一一局ニテ成レル所ノ裁判所ナレハ我々言ノ如キノミナラサル、モノモアル可シト雖モ裁判官ハ昇進シテ各所ヘ轉シ又退職スルモノアレハナリ

一又年月ヲ過キテ訴フルニ前ノ掛リ裁判官ハ在職スルヤ否ラスヤ知ルヘカラス

一タトヒ此ノ如キヲ訴フルトモ訴人ノ言フヿヲ直ニ聽クヿアラス其一件書類ヲ以テ其費用ノ額ヲ定ムルヿユヘ何レノ処ヘ訴出スルモ宜シキニアラスヤ

故ニ前ノ掛リ裁判所ヘ訴フルノ説ハ立タサルヿナリ

否ラス若シ代書師等不正ノヿヲ為ストキハソノ裁判官ニ於テハ督責ノ権アリ又免職ヲモナスノ権アリ故ニソノ裁判所ヘ訴フル譯ナリ

然リト雖モソノ代書師等ノ免職又ハ死去スルヿアレハ罰スルヿハ出来サルナリ故ニ以上道理トスヒタルモノ皆不道理ナリ」

司法省

一因テ考フルニソノ謝金ヲ取過キタル分ハ何レノ裁判所ニテモ取戻スヿハ出来ルナリ故ニ本條中償戻ヲ得ントト欲スル時ハノ下ヘ其職務ヲ行フノ間ノ一語ヲ加ヘサル可カラス

一此條ハ立法官ニテ代書師等ノ弊ヲ矯ムル為メニ立タルモノナレトモ其免職又ハ死去等ノ節ハ為ス可カラサルニ至レリ

一此條ハ専ラ代書師等ノ被告人トナルヲノ為メニ設ケタリ

司法省

一元来法律ハ正則ニ依ルヲ主トス変則ハ少ナキ方宜シ

一代書師ノ原告人トナルヲハ必ラス変則トナル

一巴里ニテハ此ノ如キ訴訟ノ為メニ別局ヲ立ツルハ古ヘ此類甚タ多シ即今ハ代書師會社アリテ大抵ハ右ノ會社ニテ調ヘ済シトナル工ヘシ甚タ少ナシ

一昨年琢ラシキ訴訟アリ代書師ニテ八千フランクノ謝金ヲ取ラントセシヿアリ自分

教師ニモ相談アリタリ頼ミタル人ハ四千フランクヲ與ヘントテ云ヒタリ然ルニ會社并裁判官ナトノ見込ニテ六千フランク遣ルヿトナレリ

一元来謝金目録定制ノ外ニ別段ノ謝礼金ヲ遣ラサル可カラス若シ常例ノ外ニ遣ラスト云フ件ハ裁判官ニテ適宜ニ謝礼ヲ遣ル可シト言渡スナリ右ハ夫々入費又ハ時間ヲモ費ヤス故ナリ然レモ弊アリ良法ニアラス

司法省

一之レニ及シテ代言人ハ自ラ謝金ヲ求ムルヿヲ得ス頼ミタル人ノ贈與スルヲ以テ足リトスル外ナシ故ニ其謝金多クテモ辞セス又贈與セサルトモ訴フルヿヲ得ス

一代言人ハ訴訟ニ付キ頼ムモノヽ本心ヨリ贈ルモノハ請ルヿヲ得ヘシト雖モ謝金何程出スヘシト預シメ約束スルヿハ禁スルナリ

一別段ノ謝礼ハ使吏ニハ贈ルニ及ハス但シ過分ニ入費ヲ取リ居ルヿアレハ訴訟トナ

ルナリ

一事ニ寄リ別段カヲ盡スヿアリソノ時ハ別段ノ謝礼ノアルヿモアリ

一代言人ヲ頼ミタリトテ贈ル可キ金ナキ何程贈ル可シト證書ヲ出スヿアリ後ニ右ノ金ヲ贈ラストモ其證書ヲ以テ訴フルヿ能ハス

一本條外ニ変則トナルヿヲ更ニ述ヘントス

一民生證書ニ有心又ハ過誤ニテ誤字書損等アルヿアリソノ取調ノヿヲ訴フルニハ

司法省

変則トナルナリ其訴ハ我子タルヲ認ムルカ又ハ夫婦離縁等ノ身分ニ関スルノ訴トハ異ナリ是レ金ク證書ノ誤リノミヲ訴フルキノヿナリ

一右ハ人ニ對スル訴ニアラス書類ニ對スルノ訴ナリ

一民生證書ノ誤リニ付テハ自カラ言ヒ誤マリシモ知ル可カラス故ニ此ノ如キ訴ハ被告人アルヿナシ

一右ノ訴ヘニハ呼出状ナシ使吏ノ取次ニテ

裁判所ヘ願書ヲ出スヿレヲ検事ニ廻ハス
ソノ時始メテ検事ハ被告人トナルナリ
一此ノ訴訟ハ何レノ裁判所ヘ差出スヿ可キヤ
ヲ法律ニ記載セスト雖モ最初民生證書ヲ
記載セシ裁判所ニ差出スヿナリ
一通常至急吟味ヲ乞フトキモ願書ヲ出スナリ
其時ハ裁判所長ヨリ許諾返書ヲ出ス民
生證書ノ願書ニ付テハ返書ヲ出スヿナシ
何トナレハ其事柄ヲ必ス取調サルヿヲ得サ
レハナリ

司法省

一右ニ付テ道理アリ通常至急吟味ハ許スト
許サヽルトハ裁判官其緩急ヲ見計フヿナ
リ此民生證書取調ノ願ニ於テハ即チ裁判
ヲ願フナリ之レヲ取揚ケサレハ裁判ヲ拒
ムニ属ス
一民法第九十九條ニハ唯其所轄ノ裁判所ト
記載セリ夫レニテハ分明ナラス必ラスソ
ノ書類ノアル裁判所ヘ訴出ツ可シト改正
ス可キ事柄ニヨリ親類等・被告人ノアル
ヿモアリ民法第百条ヲ見合ス可シ

ソノ被告人アリト雖モ被告人ノ裁判所ヘハ出テス

第六十一條　呼出狀ニハ左件ヲ記スヘシ

第一年月日原告人ノ姓名職業住所其者ニ代ハル可キ代書師ヲ任シタル事及ヒ原告人其代書師ノ家ニ別段住所ヲ擇ミタル事

但シ代書師ノ家ニ別段住所ヲ擇ミタル事ナキ時ハ其旨ヲ記スヘシ

一呼出狀ニ年月日ヲ記スト雖モ何曜日トハ記セス

何ノ為メニ日ヲ記スト言ヘハ日ヲ記セサレハ呼出狀ノ日限分明ナラス右ハ幾日ノ時間ニ裁判所ニ出ル云ヒノ一アル上ヘナリ

一礼式ノ日ハ勿論日曜日ニハ呼出狀ヲ出スヿヲ得ス但シ急ノ事ニ付テハ頒書ヲ出シ許シヲ受ク可シ　第六十二條見合

一使吏ノ呼出狀ヲ書ク時何月何日何某ノ頒ニ依テト記ス被告人一見シテ原告人何某ノ呼出ニテ何日ニ裁判所ニ出ツルヿヲ承

知スルナリ

一佛ノ法ニテ代書師ナレニハ訴フルヿヲ得ス故ニ代書師ハ何某ト記ス

一此呼出狀ヲ遣レハ被告人ヨリ返事ヲ為スニ呼出狀ニ別段住所ヲ擇ミタル事ヲ書セサルハ原告人ノ本住所ノ代書師ノ宅ニ送ル

本住所ヘ往復スルヿハ遠隔ノ地等ハ不便利ナリ故ニ右等ハ別段ソノ地ノ代書師ノ家ニ別段住所ヲ撰ムヿアリ

然レトモ原告人ニテ必ラス其家ニ寓スルニアラス

一本文住所ヲ擇ム事トハ代書人某ノ家ニ住居ヒタル旨ヲ記載スルヿナリ

但書ハ代書人ノ家ノ外ニ住所ヲ擇ミタル時何區何某ノ家ニ住所ヲ定メタル旨ヲ記載スルヿナリ

第二 呼出狀ヲ送達スル使吏ノ姓名住居授任狀被告人ノ姓名住居并ニ呼出狀ノ副本ヲ別ニ受取ル可キ者アル時ハ其者ノ姓名ヲ

記スヘシ

一前項ニ原告人ノヿヲ記スノミニテハ呼出ノ効ナシ依テ此項ニ使吏ノヿヲ記シ又被告人ノヿヲ記シ又其受取人ノヿヲ記シテ始テ其効ヲ生スルナリ

一被告人ノ姓名云ヘ右ハ知ルヲ得ヘキニ於テハ姓名トモニ記載スト雖モ姓ノミニテモ足レリトス職業等記スルニ及ハス

一別ニ受取ル可キ云ヘ呼出状ハナルヘキ丈ケ本人ニ渡スヘキヿナレ其本人不在ノ時ハ本文ノ通リ親属従者近隣ノ者ニ渡シ置クヿヲ得ルナリ第六十八条見合

本人ニ呼出状ヲ渡スヿハ必ス其家ニ於テスルニ及ハス途中ト雖モ之ヲ渡シテ苦シカラス

然レモ裁判所ニ在ルヿ又ハ議院ニ出席ノ時又ハ寺院ニテ説教中等公礼儀式ノ場ニテハ右ノ状ヲ渡スヿナシ

其公礼儀式中ニ右状ヲ渡サヽル譯ハ二説アリ一ニハ右ノ状ヲ渡ス為メニ傍人ノ驚駭ヲ釀

司法省

シ満坐ノ妨害ヲ為セハナリ

二ニハ右等ノ節受取ルモノハ讀ムヿヲモ出来ス直チニ懐中シヲ遂ニ忘却スルニ至ルヿアレハナリ

一使吏其家ニ行キテモ本人不在ナル時ハ其親族又ハ僕婢ニテモ居合セタル者ニ渡置ヿヲ得ル

一右ノ場合ニ於テ法律上ニテ丁幼ヲ論スルヿナシト雖モ幼者ニハ渡置クヿヲ為サス若シ幼者ニ渡スヿアレハ其使吏ニ罰アリ

司法省

其ノ事ヲ辨スヘキ程ノモノナレハ婦女子ニテモ之ヲ渡シテ差支ナシ

右親族僕婢ニ渡シタルトキハ使吏ヨリ其ノ受取ヲ請ハス又其ノ親族婢僕モ受取ノ印ヲ押スニ及ハス又被告人自カラ受取タルニ受取書ヲ出スニ及ハス但シ親族僕婢ノ受取リタルトキハ本文ノ通リ使吏自ラ其呼出状ノ正副本ニ其ノ者ノ姓名ヲ記入スルナリ

原来使吏ハ奉職ノ始メ誓ヲ為シタル官吏ニテ右等職務ノ取扱上ニ於テ詐偽ヲナサヽル

モノトス故ニ受取ノ證ヲ他人ニ請ハストモ自身ノ記入ニテ十分ノ証アリトス若シ其書面ニ詐為ヲ為シタル時他人ヨリ訴ヘ出テ其事實詐偽ノ證出ル迫ハ真正ノ者トス其果シテ詐偽ニ極マルトキハ勿論其嚴罰ヲ受クルヿナリ

若シ受取リタル者親族僕婢同居ノ者ニテ其状ヲ紛失セシムルトキハ使吏ノ罪ニアラス被告人ノ家事不取締ニ帰スルナリ

被告人其呼出ヲ知ラスシテ裁判所ニ出席セサルトキハ欠席裁判トナル然レトモ其裁判ニ不服ナルトキハ右行違ノ故ニ因リ故障申立ルヿヲ得ル故ニ補ヒノ出来サルモノトセス

若シ呼出状ヲ渡スニ其者ヨリ受取ヲ請フテ始テ之ヲ証トナストキハ必スシモ使吏ノ職掌ヲ待タスシテ可ナリ然レトモ其状ヲ持行キタルトキ被告人ノ處ニ誰レモ居合セサルヿアリ或ハ之ヲ避ケテ故ラニ不在スルヿアリ然ルトキハ何時マテモ裁判ヲ得ル能ハス原告人ニ於テ迷惑少カラス

又爰ニ一説アリ別段賃錢ヲ高クシ郵使ニ托

ニ本人ニ手渡シテ他人ニ渡サヌ法アリ呼出状モ此ノ取扱ニナシタラハ然ラシト然ニ亦不都合アリ被告人其ノ呼出状ヲ得テ裁判所ニ出サルモノアリ裁判所ニテ之ヲ詰問スルニ書状ヲ得タルハ呼出状ニアラス他ヨリ金ヲ送リタルナリ請待ヲ受ケタルナリナト言ヒ紛ラスヿアリテ誰モ其書ヲ検査シタルモノニ非ラサレハ其真偽ヲ區別スルヿ能ハス甚タ困難ヲ生ス故ニ一種ノ権アルモノニテ擔當シ過チアレハ必ス罰ヲ受ルモノナカル可カラス是即チ使吏ヲ置ク所以ナリ

一又被告人及ニ一家不在ノ時ハ必ス接近ノ隣人ニ渡シ置クヿヲ得ル其近隣トスフハ樓上ヲ始メ四隣ヲ近隣トスフ二階家タル時ハ下タニ住スルモノヲ呼出スニ樓上ハ尤モ近隣ナリ

其近隣ノ人受取リタル時ハ其使吏其近隣ノ者ヘ責ヲ歸スル為メニ其受取ノ證アルヿヲ要ス詳ニ第六十八条ニ見ヘタリ

法律ニ於テハ一軒ヲ隔テタル家ニ渡ス可カラスト云ハサレ共使吏ニテ其隔リタル家ニハ之ヲ渡サス

一又近隣ト雖モ酔人又ハ平生不行跡ニヲ頼ル可カラサルモノヘハ之ヲ渡スヿナシ

一頼ルヘキ人ニ之レヲ渡スヿハ其ノ者正本ニ其ノ姓名ヲ手署スルナリ

一若シ之ヲ姓名ヲ手署スルヿヲ得ス又之ヲ拒ム時ハ使吏邑長副邑長ニ渡シ其ノ検印ヲ受ルナリ第六十八條ニ詳カナリ

一然シ此第六十九條第八項ノ場合佛蘭西国内ニ分明ナル住所アラサル者ヲ呼出ス時ハ此例ヲ用フ可カラス

一其時ハ同項ニ記載シタル通リ其訴ヲナシタル裁判所ノ門扉ニ貼付スルナリ

第三　訴訟ノ目的及ヒ訴訟ヲ為ス憑據ノ簡略ナル辯明

一訴訟トナル可キ目的何等ノ事トヲ記ス不動産取戻シノ訴ナラハ取戻ス所ノ目的又所有ノ権ノ訴ナラハ所有ノ権アル目的ヲ巨細ニ記

スヘシ

右訴訟ニ付此ノ如ハ如何ト問フニアラス此事ヲ斯ノ如ク為スヘシト申遣スナリ

一又唯金ヲ貸シタルトハクリニテハ其事分明ナラス何ノ為メノ貸金トカ又ハ何ヲ賣リタル金トカ又ハ家賃ノ滞リトカ云フ其縁由ヲ記ス

一又其私ノ証書アルトキハ其証書ヲ以テ証據トナス可キ旨ヲ記ス可シ萬一証據トナル可キ私ノ文書ナキトキハ人ヲ以テ証トナスヿヲ記ス

可シ

一公正ノ証書ハ此等ノ辨解ヲ用ヒストモ十分ナリ

右等ノヿヲ記載スル所以ハ被告人ニテ之ヲ一見シテソノ訴訟ノ相當ト不相當トヲ認メテ其覺悟ヲナス為メナリ

一不動産ナレハ物件所在ノ地名ヲ記ス字アレハ其字ヲモ記ス可シ

右ニテモ不足ナリ其隣地ノモ記ス

町名番号アレハ亦之ヲ記ス時トシテ此ノ如ク詳細ナルニ及ハス其一圍ヲナシタル不動産ノ

有名ナルノ類ナリ譬ヘハ道灌山飛鳥山トヽ云フカ如シ第六十四条見合

右ノ通リ記シ置クハ被告人ニ疑ヲ生セサラシムル為メナリ

此項三段ト區分シ一ハ其事物ノ目的ニハ其縁由

三ハ其確實ナル証據ナリ

第四　訴訟ヲ審判スヘキ裁判所及ヒ其裁判所ニ出席スヘキ猶預ノ期限

一物権ナレハ其物件所在ノ地ノ裁判所ヲ記シ又被告人数人アルトキ又ハ會所ノ定マラサル

司法省

トキ等ハ其會社中一人ノ住所ノ裁判所ニ出席スヘキヿヲ定メ記スナリ

一其裁判所処在ノ地名ヲ記入スルナリ

一右ハ訴訟ニ慣レサルモノモアルヿヘニ念ヲ入ルヽナリ

一猶預ノ期限トハタトヘハ裁判所近傍ニ住スルノ人ヲ呼出スニモ四月三十日ニ呼出状ヲ出スナラハ中間八日ノ猶預ヲナシ来ル五月九日出席スヘキ旨ヲ記ス

一法律ニ定メタルナトヽ書クヿカラス法律ハ

人民一般ニ知ルト看做シアレモ中々全國一般皆能ク知ルモノニアラス

一右ハ數ケ條ハ原告人ニテ取調ヘ申述ヘタル上使吏ニテ呼出狀ニ記入スルヤリ同區内ト雖モ距離遠近ノ違ヒニテ日限ノ違ヒアリ

一十「ミリヤメートル」毎ニ二日ノ猶豫ヲ與フ物権ノ時ハ猶大切ナリ各地ノ距離ヲ知ラサルモノ多シ

一又被告人多キ時ハ日數ヲ費スヤリ其猶豫ノ原則ハ第七十二條ニアリ佛蘭西國内ニ住居スル者ニ付テハ總テ八日ノ猶預アリ里程遠キ時ハ五「ミリヤメートル」毎ニ別ニ一日ヲ增加ス

司法省

一八日トハ中間八日ニテ呼出狀到着ノ日ト裁判所ヘ出ル日トハ除イテ八日ノ内ニ算入セサルヤリ

一祭日ニ當ル日ハ呼出狀ヲ出サス又裁判所ヘモ出テス

一又右ノ八日目祭日ニ當ルトキハ其翌日ニ呼出スヤリ若其祭日八日中ニアルモノハ期限

中ニ算入スルナリ

一右ノ八日ハ通常ノ本則ナリ至急ヲ節ハ原告人其期限ヲ縮メテ呼出スヿヲ願フヲ得ル

一原告人ハ何レノ時モ至急ナルヿヲ欲セサルナレ然レトモ裁判官ニ於テ其事柄ヲ急ニスヘキト否ストヲ見計ラヒ其願ヲ許スヿアリ

一此願書ヲ差出スヿハ裁判所ニ限ルヿニ非ラス裁判官ノ宿所ヘ至リ願フモ可ナリ其時ハソノ宿所ニテ之ヲ許スヿアリ第千四十條ヲ見合ス可シ

一此第六十一條ノ内一ケ條ニテモ欠ケタルヿアレハ呼出ノ効ナシ

若シ使吏ノ誤ツテ記シタル片ハ書直ス計リニテ被告人ノ損トナルヿナキナリ

其誤書シタル時ノ入費ハ使吏己レニ擔當ス可シ第千三十一條見合

裁判ニ取掛ル片ハ裁判官ニテ必ス其呼出状ヲ検査スルヿナリ

一右ノ効ナキ呼出状ニ付被告人ノ出席セサル時裁判官ニテ其本書ヲ検シテ其誤アルヲ知レハ欠席裁判ヲ為サヽルナリ

一若シ裁判官ニテ心付カス欠席裁判ヲ為スヿアリテ後ニ被告人ヨリ故障ヲ申立ルトキハ其裁判入費ハ一切使吏ヨリ出スナリ

一再度ノ裁判ニ被告人ノ負ケトナリタルトキハ初メノ欠席裁判ノ入費ハ使吏ヨリ出スヿナリ

右誤書等ノ場合ニ付大切ナル二件アリ

一裁判官呼出状ヲ検シ欠誤アル時裁判ヲ為サヽルハ其裁判ヲ拒ムニ非ラス其欠誤アルヲ以テ其事件ヲ了解スルヿ能ハサル故裁判ニ取掛ルヿ能ハストネフ意ナリ是其一ナリ

又呼出状ヲ不都合ハ大抵使吏ノ過チニアリ其罰ハ「八フランク」位ノ罰金ニテ済ムヿアレ共事柄ニヨリ時ニヨリテハ其償ヲ為ス為メニ百萬「フランク」ノ出金ニ及フヿアリ之カ為メニ其株式ヲ失ヒ其身代ヲ抛棄シテモ足ラサルニ至ルヿアリ是其二ナリ

一譬ヘハ「プレスクリプシヨン」ノ期将ニ盡ントスル

頃原告人ヨリ許ヘタルモノヲ使吏ニテ其期限ヲ怠リテ呼出状ヲ出サヽル如キノ類原告人ノ損失莫大ナルヨリ其責使吏ニ帰シテ事此ニ及フナリ

一公礼儀式等ノ節ニ呼出状ヲ送達スルハ全ク効ナキニハアラス使吏ニテ「五フランク」ヨリ百「フランク」マテノ罰金ヲ言渡サルナリ

一使吏ハ巴里ノ下等裁判所中ニアルモノヲ合セテ六十人トス當時ハ其負ヲ増スモ計リ難シ但シ區裁判所ノ使吏ハ此中ニ算入セス

司法省

一法律ニ効ナシト記セサル分ハ其呼出状ニ於テ効ナシトセス其過チハ使吏其責ニ任シ罰ヲ受クルナリ使吏リシ慎マサル可ケンヤ故ニ日本ニ於テ此使吏ヲ置クトキハ温厚篤實ニシテ且オアリテ家資富有ノモノヲ擇ム可シ

一佛ニテ使吏ハ身元金ヲ大蔵省ニ預ケシ上免許状ヲ得然ル後ニ非サレハ使吏ノ務ヲ為スヿヲ得ス之レ定則ナリ

第六十二條　使吏ヲシテ呼出狀ヲ送達セシムル謝金ハ一日分餘ノ額ヲ拂フ可カラス

一使吏呼出狀ヲ送達スルニ其裁判所所在ノ「アルロンヂスマン」中ノ遠キ所マテ行クヿアルトモソノ送達ノ旅費ハ一日分ノ外之ヲ拂フヿナシ

一佛ニテ以前ハ二日モカハルヿアレ共近時ハ往來ノ使大ニ開ケタルニヨリ二日モカヽルヿナシ假令二日カヽルヿアルトモ一日分ヨリ外其旅費ヲ拂フヿナシ

一裁判所ヨリ被告人ノ住所マテ五「キロメートル」迄ハ其旅費ヲ拂フヿナシ

五「キロメートル」ヨリ十「キロメートル」迄ハ四「フランク」ヲ拂フ

十「キロメートル」以上ハ五「キロメートル」毎ニ二「フランク」ヲ增ス

增シテ「二十フランク」迄ニ止マル是即チ一日分十リ「二十「フランク」ハ五十「キロメートル」ニ當ル

若シ二日モカヽル時ハ使吏自費ニテ之ヲ辨ス

伸ニテハ往来ノ便ナル上ハ其旅費二十フランクニ止マルトモ使吏ノ損トナルヿナシ其近キ処ニテハ随分羨餘ヲ之レアル上ハ自ラ乗除スルナリ

右ハ裁判入費目録中ニ詳カナリ

第六十三條　裁判所ノ上席人ヨリ允許ヲ得サレハ祭日ニ呼出状ヲ送達ス可カラス

一祭日ニ呼出状ヲ出スニ効ナキニアラス使吏ニ過チアレハ其責トナル丁前ニ説キタリ

第六十四條　物権ノミニ管シタル訴訟又ハ人権ト物権ト相混シタル事ニ付テノ訴訟ノ時ハ呼出状ニ不動産ノ種類其所在ノ邑ノ名及ヒ知ルヲ得ヘキニ於テハ其邑中不動産所在ノ部分並ニ其不動産ニ隣レル地ノ中少ナクトモ二箇所ヲ記ス可シ但シ一園ヲ為シタル不動産ニ管シタル時ハ其名ト其所在ノ地ヲ記スルヿノミヲ以テ足レリトス若シ此等ノ事ヲ記セサル時ハ其呼出状ヲ取消ス可シ

此條土地ヲ記スルヿハ第六十一條ノ第三ノ処ニ説キタリ故ニ此ニ贅セス

司法省

第六十五條　此條勧解ノ一アルニ付先ツ勧解ノ概畧ヲ説ク

一千七百九十年代佛蘭西ノ大変革ヨリ蘭英ニ倣ヒ此勧解ノ法ヲ用ヒタリ

此時ヨリ英ニ行ハル、陪審ヲ用フ

一其勧解ハ治安裁判官ニテ必ス相争フ双方ヲ呼寄セ裁判所ノ中ニアル自分ノ室又ハ自分ノ宿所ニ於テ通常ノ衣服ニテ父ノ子ニ教フル如ク勧解ス此時ハ裁判官トスハス勧解人トスフ又其場所ハ裁判所トスハス勧解所トスフ

一勧解ハ人権物権トモ必ス被告人住所ノ治安裁判官之ヲ為ス動産不動産等ノ別ヲ立ツルヿナシ

一其住所ニテ勧解スルハ平生其被告人ヲ能ク知ル故ニ勧解為シ易キヲ以テナリ

一其事柄ニ付勧解ヲ受クルニ及ハサルモノアレトモ大抵必ス勧解ヲ受ルヿナリ

一タトヘハ甲ト乙ト訴ヲナスニ丙ヨリ故障ヲナスソノ丙ハ新タナル人ナレトモ之レカ為勧解ヲ

ナスヿナシ何トナレハ甲乙ハ既ニ勧解出来スシテ訴訟ニナリタルニ今又丙ニ勧解ヲナス共益ナシ徒ラニ時間ヲ費ヤスノミナリ

一又訴訟中新ニ償ヲ申立ツルモノアルトモ主タル訴訟勧解ハ可カラサレハ其償ニ付勧解スルヿナシ

一訴訟ニ付保証人其訴ヘニ関スルヿアル共此ハ勧解ヲ為サヽルナリ

故ニ一旦主タル訴訟ヲ始メタル上ハ勧解セサルヿナリ 第四十八条見合

司法省

主タル訴訟ヲ為サヽル前ハ必ス勧解スルヿナリ

一勧解ハ各自己レノ権利ヲ以テ其事物ヲ自由ニ取扱フヲ得ヘキ権アル人ニアラサレハ之ヲ為サヽル

一幼年又ハ人ノ妻治産ノ禁ヲ受ケタルモノ等其ノ事物ヲ自由ニ取扱フヲ得サル人ハ其後見人管財人支配人等一々相談シテ允許ヲ受ケサレハ能ハサル故ナリ

若シ勧解ヲ為サントセハ右数人ヲ呼寄セサ

ルヲ得ス然ル時ハ其手数モ多クシテ容易ナラス理ニ於テ當然ノ了ニアラサルナリ

一第四十九條ノ目ニアルモノハ総テ勧解ニ及ハスト雖何トナレハ政府縣邑寺ノ事件ニ付テハ其會議負ヲ盡ク呼ハサレハ能ハス是又理ニ當ラサル了ナリ

一自主ノ権ナキ者勧解ニ及ハサルハ勿論又其人ハ勧解スヘキ人ト雖モ其争フ所ノ事和解ヲ為スヲ得ヘキ了ニアラサレハ勧解セス

タトヘハ子ヨリ人ヲ指シテ我父ナリト訴フル如キ是ナリ

司法省

夫婦別居ノ了夫婦財産ヲ分ツ了婚姻取消ノ了等モ亦同シ

尤モ夫婦爭ヒヲ勧解スル了アル共其時ハ州裁判所ノ裁判官之ヲ為スナリ治安裁判官ニテハ之ヲ為サヽルナリ

一右ノ道理ハ治安裁判官ヨリハ州裁判官ハ威権モアリテ勧解モ能ク行届ケハナリ且治安裁判官ハ夫ノ明文ナトニテ多ク相狎ルヽノ嫌アリ其事柄佛ニテハ鄭重ニナスヱヘナリ 民法離婚夫婦

別居ヲ許フル等
条ニ詳カナリ

右ハ訴ヘタリトモ必ス其ノ訴ノ通リニスル
モノニアラス其條理ヲ篤ト裁判官ニテ承知セ
サレハ之ヲナサヽル ナリ

一離婚ハ重キ二ヘ離婚ニナラサル様却テ治
安裁判官ニテ勧解シテ可然トノ説アレ共治安
裁判官ハ平日相狎ルヽヘニ軽ニシテ夫婦互ニ
信用セサルノ意味アリ

一若シ勧解シテ不承知ナレハ必ス別居セシメ
テ夫ニ其家屋ヲ擇ヒ又ニ其給料ヲ与フルヿ

司法省

子アレハ其子ノ引受等マテノ手ヲ付ケサル
ヲ得ス此等ノヿハ治安裁判官ニテ之ヲ處置
スルノ権ナシ是亦州裁判所ニテ勧解入ル所
以ナリ

一勧解ヲ為シ得ヘキ人 ○勧解ヲ為シ得
ヘキ事 ○主タル訴訟
此三事ヲ備ヘタルモノニ限リ勧解スルナリ
然レヒ至急ノ場合又事柄ニヨリ勧解ニ及ハ
サルモノアリ

一商業ノ事 ○家賃ノ事 ○土地借賃ノ事

○利息ノ事等ナリ

一又被告三人以上ノ時ハ勧解セス然レトモ之レニ反シ原告人多クシテ被告人一人ナレハ勧解ス

右ノ理ハ人情大抵拒ムヿアル故ニ被告人多数ナル時ハ必ス之ヲ拒ミ勧解シ難キモノナリ

抑原告人ヨリ勧解ヲ願出ル時ハ既ニ一歩自ラ退キ相談スルノ情アル故被告人ハ必ス之ニ乗シ多人同腹ニヲ申張ル故勧解セサルモノトス

司法省

タトヘハ外國人ヨリ我政府ニ雇ハレ度ヿヲ願フ時ハ政府ニテハ成ル丈ケ給金ヲ賤シクシテ使ハントスル外國人モ終ニ賤給ニ從フカ如シ四海兄弟ト云ト雖モ此ニ至テハ虧ル所アリ

恕テ願ヒ出ルモノハ損ナリ

一此四十九條ノ目ニ於テハ大ニ議論アリ今ハ七項ノ内二項ヲ取レリ第二項第六項是レナリ

一第一項官府及ヒ云ヽハ無論勧解ニ及ハサルモノニテ掲クルニ及ハス

第三項ノ主タル訴訟ニトモ原ヨリ勧解ス可
カラサルモノユヘ亦タ掲クルニ及ハス
一第四項商業ハ急ナルモノニテ之レモ掲ク
ルニ及ハス是レハ第二項ノ迅速ナル中ニ含
有スルナリ
一第五項第七項モ記スルニ及ハス年金養料ノ
拂方等原ヨリ勧解ノ出来サルモノナリ
一第五項中負債ヲ償ハサルニ付キテノ禁錮ハ已
ニ廃シタリ
但シ刑事裁判ノ費用ト罰金ヲ拂ハサル
ニ付テハ尚ホ禁錮アリ
一右等ノ如ク佛國ノ法律ニ於テモ不備ノ所アリ
故ニ之ヲ其儘日本ニ行フヲアル可カラス我
國ノ害ヲ他国ニ及ホスナリ
併シ此法ヲ立テタルノ宜シカラストスニ非ス
法律編輯ノ宜シキヲ得サルヲスナリ
一勧解ハ現地多分調フモノナリ其勧解調フ
時ハ此事ヲ如此ニスト治安裁判官ニテ証
書ニ認メ約定ヲ立テシムルヲナリ
其約定ハ変改ス可カラサルモノナリ

司法省

一其勧解調ハサル時ハ其不調証書ノ寫ヲ受取リ後訴訟ニ被告人ヲ呼出ス時使吏ニ渡スナリ

一治安裁判官ハ公正ノ官吏ナリ然ルニ第五十四條ニ私ノ契約書ノカアリト書キタルハ甚タ宜シカラス治安裁判官ノ書キタルモ公正ナル故ニ万一詐偽アリテモ他人ヨリ偽リナリト訴フルマテハ正シキ證トスルモノナリ

公証人ノ証書ハ何方ヘ持出ストモ公正ノ証書ニテ通ルモノナリ治安裁判官ノ書キタルモノハ裁判所ニ持出サレハ其効ナシ

司法省

何故ニ公證人ノ証書ト治安裁判官ノ証書ト右ノ如ク違ヒアリヤトヲハ此法律書ヲ作ル時ハ國議院ニテ草案ヲ拵ヘタルモノナリ其節ノ考ニ治安裁判官ノ書タルモノ一般公正ノモノトスル時ハ勧解々々トヲフテ皆ナ治安裁判官ノ書付ヲ乞フニ至リ公証人ハ其職ヲ曠フスルニ至ル故ニ治安裁判官ニ権ヲ付ケサル為メニ如此ナミタリ

一右ノ譯ハタトヘハ一万「フランク」ノ契約書ヲ公証人ニ頼ム時ハ三百「フランク」ノ書賃アリ

之ヲ治安裁判官ニ頼ム時ハ一銭ノ費ナシ是其公証人ニ頼ムモノナキニ至ル原因ナリ因テ此ノ私ノ字ヲ下シテ暗ニ公証人ヲ助ケタルモノナリ

一故ニ公証人ノ書キタルモノハ其儘公正ノ書トナリテ何地ニテモ行ハルレトモ治安裁判官ノ書キタルハ同シク公正ノ証書ニシテ一應裁判所ニ出サレハ其用ヲナサス

一公証人ノ証書ノ末文ニ「オーノンデ。ビユソロブウニセー」ノ文アリ

司法省

仏蘭西人民ノ各ヲ以テノ義ナリ之ヲ日本ニテ云ハヽ天皇陛下ノ御名ヲ書クカ如シ此公正証書ノ重キ所以ナリ

一以下再ヒ勸解ノ「ヲ説ク

若シ両人ノモノ勸解調ハサル時ハ其調ハサル旨ヲ呼出状ニ記載ス

一勸解呼出ノ節欠席スルトモ治安裁判官ニテ欠席裁判ヲ為スヿ能ハス唯欠席シタル旨ヲ呼出状ニ記入ス

一欠席ノモノヘハ治安裁判官ニテ「ナフラシリ」

ノ罰金ヲ甲渡スノ権アリ

其罰金ヲ納ムルニハ八日ノ期限アリ

双方ノ中一方ノ者勧解ニ欠席シテ罰金ヲ拂ハサル迫ハ州裁判所ニテ訴訟ヲ為スヿヲ許サス 第五十六條見合

一原告人ニテ欠席スレハ十ヿフラニクヲ出シタル上ニ非サレハ訴訟ヲナスヲ得ス又被告人ニテ欠席シテ罰金ヲ拂ハサレハ欠席裁判トナル

右拂フタル証ハ代書人ヲ雇ヒ得ルナリ

其他勧解ニ付テノ書付ノ写ヲ送ル工ハ拂ノ費ナルヿニ分カルナリ

第六十五條 其呼出状ト共ニ勧解ヲ為シ得サル事ノ調書ノ写又ハ勧解ニ出席セサル事ヲ記シタル書ノ写ヲ送達スヿ可シ若シ之ヲ送達セサル時ハ其呼出状ノ効ナカル可シ○又呼出状ト共ニ訴訟ヲ為スノ憑據メル證書ノ全部又ハ一部ノ写ヲ送ル可シ但シ此等ノ写ヲ呼出状ト共ニ送達セサル時ハ後ニ吟味ノ時原告人其写ヲ送ルヿアリト雖モ其写ノ費用ヲ裁判費用中ニ加フ可カラス

一訴訟セントスルニハ先ツ必ラス勸解スヘキヿナリ勸解調フヿハ訴訟トナラスシテ済ムナリ勸解ノ調ハサルヿ又ハ欠席シタルヿアレハ其旨ヲ証書ニ記メ原告人ニ渡ス訴訟ノヿハ使吏其証書ヲ呼出状ニ添ヘテ被告人ヲ呼出ス

一其呼出状ニハ勸解ヲ為シ得ヘキ事柄ヲ書クニ及ハス又勸解ニ及ハサル事柄ヲ記スルニ及ハス勸解ニ及ハサルハ記シ置ストモ其事柄ニテ分明ナレハナリ

一勸解スヘキモノト雖モ急ナルヿハ勸解ヲ受ケス其儘訴ヘ出ルナリ其時ハ勸解ヲ受ケサル旨ヲ記ス但シ此時ニ限リ其旨ヲ記入スルナリ

一至急ノヿハ勸解ヲ為サス然レトモ裁判官ニ於テ至急ナラスト見込ム時ハ其呼出状ヲ効ナシトス其時ハ被告人出ルトモ之ヲ帰ヘシテ更ニ勸解セシムルナリ

此時ニ當ツテハ其呼出ニ被告人出席セスト雖モ元ト勸解ノ順序ヲ経サルニヨリ原告人ノ過

千ナル上ハ其呼出状ノ費用ハ原告人之ヲ擔當スルナリ

一其時迚ハ代書人未タ手ヲ付クルヿナキニ付其費用ナキナリ

使吏呼出ニ行ク旅費ハ前ニ記ク如ク一日二十フランクノ費用ヲ拂ノナリ

一原告人ハ被告人三人以上アリトシテ呼出タルキ其中ノ一人ハ訴訟ニ関セサルヿアランニハ被告人二人トナル上ハ勸解セシムルナリクノ時ハ前ニ同シク費用ハ原告人ニテ辯スルナリ実地ニハ少キヿナレトモ次シテナシトセス

右ノ一説ハ教師今考ヘ出ス所トスノ

一三人以上以下ト區別ヲ立テタルハ原告人我カ志願ヲ急クヿヘウサト被告人ヲ増シ三人以上トシテ勸解ヲナサヽル事ノ弊アル上ハ之ヲ防ク為メニ此事ノ處ハ厳ニ其區別ヲ立テタルナリ若シ右ノ場合ニテ呼出状ヲ出シタルトモ其呼出状ハ効ナキニノトス

一第六十一條ニ載スル訴状モノ〻寫ヲ送ルヘシ以下本文

圏外ニ付テ説ク

此書件ヲ添ヘ呼出スー原則ナレトモ若シ其寫ヲ添ヘストモ其呼出狀ハ廢物トナルニアラス其書類ノ寫ハ後ヨリ裁判所ニ出スモ妨ケナケレ共費用ハ原告人ニテ之ヲ拂フナリ

一第六十一條呼出狀ニハ証拠ヲ節畧シテ書載スルヿヲ云ヒ此条ニハ其寫ヲ添フルヿヲ云フナリ

第六十六條　使吏ハ総テ自己ノ宗系ノ血屬又ハ姻屬ノ親及ヒ其婦ノ宗系ノ血屬及ヒ姻屬ノ親ノ為メニ呼出狀ヲ送達スヿヲカラス又其再從兄弟以上ナル自己ノ傍系ノ血屬及ヒ姻屬ノ親ノ為メ呼出狀ヲ送達スヿヲカラス若シ此規則ニ背ク時ハ其呼出狀ノ効ナカルヿヲ

一使吏ハ警ヲ立テタル官吏ナレ共親族等ノ嫌疑ヲ避サルヿヲカラス故ニ親族ノ為メニ呼出狀ヲ取扱フヘカラスタトヘハ親族原告人ニテ被告人ヘ呼出狀ヲ送達セシムルニ使吏故ニ之ヲ被告人ニ送達セス因テ欠席裁判トナリ遂ニ故障申立又ハ控訴ノ期限ヲ過キタル迄被告人ニテ知ラサル事ニテ大ニ其迷

怨トナルヿアル工ヘ之ヲ禁ミタルナリ

此條中血屬姻屬ノヿハ別ニ系圖アリ此儀ハ別ニ説クヿ可シ

一此條ハ親族ノ利トナル方ヲ禁セス害トナル方ヲ禁セス先ツ其區別ヲ説カンニ其害ニナルヿハタトヘハ使吏ニテ物件ヲ取上ル裁判ニ付其書付モ其規則ニ合ハセス又取上ケミセス然ル時ハ親族ノ為メヲ量リテ却テ害トナル何トナレハ終ニソノ為メニ親族ヲ罪ヲ釀スノミナラス自カラ罪ヲ得ルナリ故ニ之ヲ禁セサルナリ

司法省

又害トナルヿヲ云ハヽ使吏ノ父ヘ他人ヨリカヽル訴訟アル時其呼出狀ヲ父ヘハ必ラス送達スヘシ

若シ之ヲ送達セサレハ欠席裁判トナリテ父ノ負トナル故ニ必ラス送達スル

故ニ親族ノ被告人ナル片ハ禁セサルナリ畢竟利ニナル方ハ之ヲ禁シ害ニナル方ハ差支ナキヿヘ之ヲ禁セス

一本條ニ自己ノ宗系血屬トアリテ其分界ヲ立テス上ハ祖〻ニ至リ下ハ孫々マテヲ含ンテ

云ノナリ

姻属ノ宗系トヽフモ即チ前條ノ如ク上下ニ通シテヽフ

上ノ自己ノ宗系ノ血属又ハ姻属ノ親中ニハ婦ノ宗系ノ血属ヲ含ム下ノ姻属ノ親トハ夫ノ親属ニアラス婦ノミノ姻属ナリタトヘハ一度嫁シタル婦ハ舅姑アルヘシ右ヲ引取リタラハ自己ニハ関係ナシト雖モ婦ニハ関係アリ

婦ノ離縁スレハ其姻属ニ関係ナシト雖モ其子ノ跡ニ残リタルトキハ関係アリ

一旦離縁スレハ其縁断ユレモ子アルトキハ其縁断セス是其関係アル所以ナリ

其子ノ祖父アリソノ祖父ニテ自己ヘ呼出状ノ一ヲ頼シタル時ハ拒クヿ能ハス愛情ノ起ルハ必定ナリ其愛情ヲ以テ取扱フ時ハ必ラス私アル可シ故ニ之ヲ禁スルナリ

若シ其子ナキ片ハ姻属ナシ使吏ニ於テ嫌ヒナシ

本文ヲ自己ノ宗系血属又ハ姻属宗系ノ親及

ヒ其婦姻属宗系ノ親（婦ノ前婚ノ親ヲ指ス）ト書ケハ分明ナリ

再従兄弟以上ハ夫婦双方ヲ兼子テ云フ

傍系ノ血属トハ伯叔父母以上ナリ姻属ノ親

トハ傍系ニ就テ云フ

前文ニハ婦ノ姻属トアリ自己ノ傍系ノ血属

云ヒノ所ニハ婦ノ姻属ヲ説カス婦ニ姻属ノ

親アリト雖モソレ等ハ法律ニ載セス妻ノ前

婚ノ傍系ニハ嫌ナケレハナリ

子アルトモ子ノ伯叔ノ事ハ差支ナシ

一再従兄弟ヲ六級ノ親属トス此再従兄弟ノ中

二異父母兄弟ヲ算入セス全ク同父母兄弟ヨリ

成リタル者ノミヲ云フ然ラハ異父母兄弟ニ

ハ送達スルモ可ナリトス云フカ如シ法律ノ缺

ヤリ既ニ法律ニ禁セサルニ於テハ異父母兄

弟ノ為メニ送達スルトモ其効アルモノトス

然レトモ異父兄弟ハ婦ノ血属即チ自己ノ姻属ノ

親ヨリモ其情ニ於テ甚タ密ナリ嫌ナキ能ハス

本條ニ之ヲ禁スルヲ補フヘシ

然レトモ佛ニテハ右ノ嫌ヲ避ケスシテ送達スルユト

ナキ為ノ裁判所ニテ別ニ其取締法ヲ設ケタリ

此等ノ事ハ裁判所ニテ其罰ヲ加ヘ甚シキニ至リテハ二ヶ月ノ停職アリ又自分ノ為ニスルヿト其ノ妻ノ為ニスルヿトハ又此條ニナキナリ元ヨリ自己ノ呼出狀ヲ自カラ書クヿハナキ筈ナレトモ法律ニ禁セサルニ於テハ差支ナキカ如シト雖ト血族姻屬ノ為メニサヘ禁アルヿナレハ自己及ヒ妻ノ為メニハ勿論ナリ

若シ右等ノヿヲ為シタル片ハ譴責ハ申スニ及ハス餘程重キヿニナルヿヘ此條ニハ輕キヲ挙ヲ重ヲ云ハスト見做シテ可ナリ

司法省

一日本ニテ法律ヲ立ツルニハ自分ノ為ニスルヿ妻ノ為ニスルヿ異父母兄弟ノ為ニスルヿヲ分明記入スヘシ

此等ノ法律ノ所缺ハ佛國ニテ改草スヘキニ倣ヒ國乱アルヲ以テ其改草ニ遑ナク其儘ニテアルナリ

国議院ニテ旧来コート改正ノ議論アリ然ルニ千八百七十年ノ乱ニテ其事終ニ廃シタリ其後巴里ノ憂ニ国議院ノ草案業悉

ク兵火ニ罹リタリ實ニ惜ムヘシ

第六十七條　使吏ハ呼出狀ノ正本及ニ副本ノ末ニ其謝金ノ高ヲ記入スヘシ若シ之ヲ記セサル時ハ後ニ其呼出狀ヲ官署ノ簿冊ニ登記スル時五「フランク」ノ罰金ヲ出スヘシ

一呼出狀ノ價ヲ書クヘシ書カストモ其價ヲ取ラサルニモアラス効ナキニモアラス唯五「フランク」ノ罰金ヲ出スノミ此条ハ余リ大切ナル條ニアラス其謝金ヲ貪ホル「宿弊ナルニ因テ之ヲ防ク為ニ置キタルナレモ別ニ謝金目録表アリテ其價ヲ増減スル

司法省

規則アレハ此條終ニ無用ニ帰ス

第六十八條　呼出狀ハ被告人ニ之ヲ渡シ又ハ其住所ニ之ヲ渡スヘシ然ニ被告人ノ住所ニ其被告人及ヒ其親族從者ノ共ニアラサル時ハ使吏其呼出狀ノ副本ヲ近隣ノ者ニ渡シ近隣ノ者其正本ニ其姓名ヲ手署スヘシ若シ其近隣ノ者姓名ヲ手署スル「ヲ得ス又ハ手署スル「ヲ欲セサル時ハ使吏其副本ヲ其邑長又ハ其輔佐役ニ渡シ此等ノ者謝金ヲ得スシテ正本ニ検印ヲ為スヘシ

一使吏ハ其正本及ヒ副本ニ此等ノ諸事ヲ附記スヘシ

此條前ニ記ケリ故ニ此ニ贅セス

第六十九條

此ハ前各人民ヲ呼出スヿヲ解ク此條以下ハ全ク別ナリ第一項ヨリ第六項マテハ無形ノ人ト見做スモノナリ

第一官府ヲ其土地ノ事ニ管シタル訴訟ニ付キ呼出ス時ハ其訴訟ヲ審判スヘキ裁判所在ノ地ノ州長又ハ其住所ニ呼出状ヲ送達スヘシ

司法省

官ハ無形ノ人ニテ其所有物アリテ被告人ニナルヿヲ記キタリ行政ノ事件ニ関シタルヿニアラス即チ官ヲ一人ト見做シ民事ノ裁判トナル

官ノ所有ニカヽルモノハ民事裁判

一若シ官ニテ人民ノ私地ヲ取込ム時ハ其害ヲ受タルモノヨリ訴出テ民事裁判トナル

又官ノ山林等ヲ買ヒタルニ間違アリ又ハ其土地家屋貸借ノヿニ付テノ訴ハ民事裁判

一又一ツノ大切ノ例アリ日本ニテモ國債アリ佛ニテモ又大国債アリ此等ハ人民一般ノ金ヲ借ルト円一

ナリ此等ハ政府ト毫モ別ヲ立テス一般人民ト看
做シ其訴ハ民事争裁判トナル
以上皆民事裁判ニナルモノヲ云フ
以下行政ニ出ル分ヲ云ハン
政府ト人民ト関係ノ時政府ノ権ヲ以裁判セサル
可カラサルヿハ行政裁判ニ帰ス
タトヘハ租税ノヿニ付其出スヘキ高ハ立法官ニテ
法律ヲ以テ定ムレトモ其各人民取立ルヿハ各地
方ノ行政ニテ之ヲ為スヿナリ
毎年翌年ノ不動産税ハ何程ト定ムタトヘハ

司法省

其高百万トスレハ之ヲ八十六州ニ課シ一州ニテ
何程ト定ム
尤州ニ貧富大小アレハ其相当ヲ以テ割合ヲ定ム
州又之ヲ郡(アルロニシスマン)ニ割付又之ヲ邑(ナンヒヤン)ニ割付一邑ノ高
ヲ定ム
ソレヨリ邑會議院之ヲ一人々々ニ割付ルナリ其
人々ニ割付ルニ付テハ其者所持ノ土地廣狹産
物宅地空地等ノ表ニヨリ検査シ其税ヲ課ス
ルナリ
右表ハ行政官ニテ製ス其表ニハ不適當ノヿ

アリテ余分ニ税ヲ拂フアル時之ヲ訴ル如キハ即チ行政裁判ニ帰スルナリ

日本ニテハ、天皇陛下其高ヲ定ムルヨリ其各人ニ割付ルニ至ルマテ行政上ニテ取極ムルヿナレハナリ

此等ノヿヲ若シ民事裁判ニテ取揚クルトキハ「コンプリ」(管轄ノヿ)争ナル

一 三世ナホレオン千八百五十二年ニ大統領トナル

件 前主「オーリアン」家ノ財産ヲ取揚ケント布告シタリ此「オリアン」家ノ財産ハ佛国ノ物ナリ然ルニ其

司法省

「オーリアン」家ノ子孫ヨリ右ノヿヲ布告直シニ為シテモライ度旨民事裁判ニ訴ヘタリ之ヲ民事裁判ニ取揚ケタルヲ以テ巴里ノ州長ヨリ故障申立タル故民事裁判ニテ之ヲ拒ムトキハ権限ノ争トナルニ付之ヲ行政裁判ニ帰シタリ然ルニ右ノ訴訟ハ布告ノ通リト裁判ニナリタリ「オーリアン」家ノ訴ハ効ナシトナレリ

昨年「ナホレオン」三世ノ甥ナル者佛ニ帰ラントスルヲ警視廳ノ手ニテ留メタルニ付人民ノ権利ヲ妨ケタリトテ警視廳ニ對シ民事裁判所ヘ訴

ノ地ノ州長又ハ其住所ニ呼出状ヲ送達スヲ可ト
一官ニハ必ラス所有物アリソノ事ニ付テノ訴
訟ハ一般ノ法ニ循ヒ民事裁判ニ帰ス
一官ノ所有物ニ於テ不動産ナレハ物件所在ノ
地ノ裁判所ニテ處分ス
右ノ場合ニ於テ官府原告ニラ人権ナルトキハ
被告人所在ノ裁判所ヘ訴フルナリ
若シ官府人権ノ下ニ付被告人トナルトキハ何
レノ裁判所ヘ訴フヘシト法律上ニ云ハスト
雖モ呼出状ヲ何レノ所ヘ送達スヘシト法律
ニマレアリ

司法省

此項ニ云フ如ク官ノ所有物ニ付テノ訴訟ハ
州長又ハ州長ノ住所ヘ送達スルトアリ原来
官府ノ所有スル山林田地等ニ必ス管理者ア
リ故ニ此管理者ニテ其訴訟ヲ引請ク可キカ如
シト雖モ州長ハ一州ノ惣代ニシテ其地ノ支
配権アリ且管理者ヨリモ聰明ナル故ヲ以
テ其訴訟ヲ防クニ委シキ上ヘ州長ヲ呼出ス
ナリ
タトヘハ神奈川縣中ニ製鐵場アリ鑛山ア

ヘタリ此時ニハ民事裁判ニテ取扱レハ権限ノ
爭アルト見タル故此訴ヲ断ハリタリ其時ノ
言ニ一政府斃レテ一政府立ツ時ハ新政府ノ
為メ人民ヲ保護セサル可カラスト云フ
一タトヘハ教育ノ官アリ不拔ノ官ナラサレハ場合
ニヨリ免職セラル、ナリソノ場合ヒヨラスシテ
免職セラル、時ハ何故ニ免職セラル、ヤト訴フルヿ
アリ此訴訟ハ行政裁判ニ訴ノ
タトヘハ文部卿ハ自分教師ヲ免職スルノ権アリ然
レ共自分ニハ故障ヲ訴フルノ権アリ

司法省

自分教師奉職中休暇ヲ得テ日本ニ来リ居ル
佛ノ文部省ニテ免職スルトキハ自分ヨリ之
ヲ行政裁判ニ訴ルナリ
一右権限ノ大主意大段二ツニ分カル官ノ公
権上ニ就テノ訴訟ハ行政裁判ナリ
官ノ私権上ニ就テノ訴訟ハ民事裁判ナ
リ

第八

第十五日

第六十九條

第一項官府ヲ其土地ハ事ニ管シタル訴訟ニ付
キ呼出ス時ハ其訴訟ヲ審判ス可キ裁判所所在

リ工部省ニ属スルモノト雖モ工部省ハ惣テ製鐵ニテモ鑛山ニテモ其業ヲ盛大ニスル責アルモノニシテ其土地ハ即チ政府ノモノナレハ大藏省ノ管轄ナリ因テ其土地ノ事ニ付訴訟起ル時ハ工部省ヲ呼ニ出タサスシテ縣令前文ノ州長ニ當ルヲ呼出スナリフノ時ハ縣令ハ政府ノ名代人トナルナリ

何故ニ州長ヲ政府ノ名代ト為スヤトヲハヽ大藏卿ハ全國ノ地ヲ管スルヿナレトモ一人ニテ自身一々之レニ應接スルヿ能ハサルユヘソノ地ノ情態ヲ熟知スル州長ヲ以テ名代人トナスナリ

司法省

一タトヘハ神奈川ニアル鑛山ニテ人民ノ所有地ヘ侵入シタルトキハ鑛山寮出張ノ官吏ヲ呼ヒ出スヘキカ如シ然ルニ縣令ヲ呼ヒ出スハ不相當ニ見ユレトモ否ラス尤モ事ニヨリ鑛山寮ノ官吏自ラソノ規則ヲ犯シタル時ハ直チニ寮ノ官吏ヲ呼ヒ出スヿアレトモ鑛業ニテ人民ノ所有物ニ侵入セシ時ハ必ラス縣令ヲ呼

出スヤリ元ヨリ管ノ官吏ハ土地ノ一ニ付テ
ハソノ訴ヲ防クノ権ナクシテ縣令ハ土地所
有ノ名代人ナレハナリ
縣令ハ政府ノ代人トハ云フヒ分別スレハ即
チ大蔵卿ノ代人トナル譯ナリ
第二項官府會計局ヲ訴訟ノ事ニ付キ呼出ス時
ハ其官吏又ハ其官署ニ呼出状ヲ送達ス可シ
一右ハ人権ニ関スル一ニテタトヘハ會計官吏
ニテ人民ヨリ金ヲ借ルヿアリ右ニ付訴訟起
ル時ハ人民相互ノ訴訟ト同一ニ帰スル故ソ

司法省

ノ會計局ニ呼出状ヲ送達スルナリ其借金
ハ官ノ借用ニ相違ナケレヒ官ノ公権ヲ以テ
借リタルニアラス畢竟會計局ノ私借ナリ
故ニ民事裁判トナルソノ時ハ大蔵卿ヲ呼
出スヿナレヒモソノ名代ニ會計局ヲ呼ヒ出ス
ナリ
一タトヘハ金ヲバンクヘ預ル如ク人民ヨリ官
署ヘ預ケルヿアリ尤モ利金モアルナリ此等
ノヿニ付訴訟トナル件ハ人民ヨリ官署ヲ
相手取ルヿアリ

又政府ニ関スル新聞紙又ハ公證人等ハ係證金ヲ出シ置クニソノ業ヲ罷スルトキハソノ金ヲ政府ヨリ返スヲ可キニ猶之レヲ返サヽルトキハ訴トナルナリ

ソノ時ニハ政府ハ政府ナレトモ金ノ預リトヽフモノナリ故ニ一般人民ノ訴訟ト同シク民事裁判所ニ訴フ

凡政府ニテ公ケノ権ヲ以テ取扱フタル金ニ於テハ民事裁判ノ権外タリ

一タトヘハ官吏ノ私ノ疎忽ニテ出仕セサル等ノ月給ヲ引クトキソノ官吏ヨリ苦情ヲ訴フルモノハ民事裁判ノ権ニアラス即チ行政裁判ノ権ニアリ

又官府ニテ人民ヨリ金ヲ借ルトキハ官府ノ権ニテ借ルニアラス官府ニテ人民トナリテ人民ヨリ借ル理ナリ即チ国債等之レナリ

又陸軍ニテ軍器ヲ注文スルニソノ軍器ニ付テノ訴訟ハ行政裁判ノ権ナリ

ソノ節ハ注文ニタル省ノ卿自カラ其器械

司法省

師ノ呼ヒ出タシ且ツ自クラ裁判スルナリ

国債ニ付キ争ノ起リタルトキハ即チ此本項ニ入ルナリ

尤モ右ノ場合ニ於テ争ノ起ルヿハ絶テナシ

近年ノ戦ニ国債證書ヲ失ヒタルモノ澤山アリソノ時ニ更ニ證書ヲ請取ルヿヲ會計官ハ乞フモノアリソノ節右ヲ取調ヘテ渡スヿ可キニ之レヲ拒ムキ之ヲ訴フ如キハ即チ民事裁判ニ入ル

タトヘハ陸軍卿ヨリ軍器ヲ注文シタルニ其器械遅延シテ未タ出来サル内ニ最早軍モ果タリ因テ其事ニ後レタルヲ以テ軍器ノ價ヲ引ケトヽフヿニ争ノ起ルモノハ私事ニアラス公権ナリ故ニ行政裁判トナリ

司法省

右ノ如ク軍器ノ粗悪又ハ其出来方遅延スルニ付其價ヲ引ク時訴ノ起リタルトキハ民事裁判官ニテソノ争ヲ審理スルノ理ナシ即チ陸軍卿ニテ裁判ス

人民ノ為メニ軍ヲ起スハ政府職務上ノ公

権ナルニ其用ヲ勤ムルモノソノ事ニ怠リ或ハ其物ヲ粗悪ニスルハ之レカ為メ不都合ヲ生スルニ至リ政府人民ニ對シ其義務ヲ欠ク所以ノ理ヨリ起ルナリ

一國債ヲナスニ於テソノ人民ヲシテ損害ヲ受ケサラシメント欲スルカ為メニ政府ノ権ヲ以テセス一般人民トナリテ借ルナリ

仮ニテモ行政ヲ了ニ付テハ自カラ注文シヲソノ争ヲ起シ自カラ之レヲ裁判スルハ不都合トノ論アリ故ニ政府外ニ別ニ行政裁判所ヲ置キ通常裁判官ノ如ク不拔ノ権ヲ与ヘタル裁判官ヲ設ケントスフ説アレトモ未タ行ハレス

司法省

一本項ニ基ツキテ説ク

官府ニテ金ヲ借ハニ人民一般ノ如クスルハ少シク不相當ナルカ如キモノナレトモ否ラスタトヘハコヽニ陸軍省ノ注文ヲ受ケタル軍器ヲ同省ヘ納メ陸軍卿ノ検印アル證書ヲ以テ金ヲ請取ラントスルニ會計官吏ニテ金ナシトシテ渡サヽルキハ如何スヘキヤ即チ

右ノ注文品ハ既ニ検査済ミニテ納マリタルモノナレハ即チ民事裁判トナルナリ

器械ノ美悪ト出来ノ遅速トハ行政裁判ナリ

既ニソノ品ヲ受取リテ金ヲ渡サヽル時ニ至テハ民事裁判ナリ

此條ニ於テ法律上ニ付キ議論スヘキフアレ

ニ佛ニテ此條ヲ存スル間ハソノ立テ置ク処ノ理ヲ辨明セサル可カラス

第三項官署又ハ公舎ヲ訴訟ニ付キ呼出ス時ハ其本局ニ呼出状ヲ送達シ其他ニ於テハ其委員又ハ其官署ニ送達ス可シ

一官署又ハ公舎トハ公ケノ建造物ヲ云フ病院狂院又ハ養育院貧屋等ノ如キ官ヨリ監察ヲナスモノナリ

諸省等ノ如キハ此中ニハ入ラス

右ハ全ク人民ヨリ醵金ニテ出タルモノナレニ政府ヨリ監察ヲナス又ハ公ケノ建造物ト云フ（手ハ邑ノ持チ又ハ此内ニ入ラス）

其建物ハ私有物ナレモソノ支配ヲナスモノハ官ヨリ命スルナリ此公ノ字妥ナラス

司法省

ソノ附属ノ官員ノ月給ハ此建物ノ揚リ高ヲ
リ出ス
此建物ヲ建ルニモ閉ルニモ政府ノ允許ナカ
ルヘカラス尤モ地方官ニテ允許ス此會計
モ官ニテ検査スルナリ
一此本局ハ首府ニアリ支局ハ州ニアリソノ時
ハ本局ハ本局ノ地支局ハ支局ノ地ノ裁判所
ニ呼出スナリ
第四項皇帝ヲ其私領ノ事ニ付キ呼出ス時ハ
裁判所管轄地内ニ在ル検事ニ其呼出状ヲ送
達スヘシ

司法省

一件ニテハ長ク王ニテ後皇帝トナリ今ハ大統
領トナリタリ大統領ニ對シテハ此條ハ用ヒ
ス
古ヨリ言傳ヘニモ王ニ對シ訴ヲナスヲ得
スト故ニ検事ヲ呼出スナリ此訴訟法ヲ作リタ
ルトキハ検事ヲ王ノ名代ト立テタリ故ニ此
ノ如シソノ後千八百三十二年ニ至リ全ク王
ノ所有物ヲ管轄スル官吏出来タリ民事目録官吏ト譯ス
後ハ此官吏ヲ呼出スヿトナリタリ

原来検事ヲ王ノ名代ト云フハ間違ヒナリ一般人民ノ名代ナリ

故ニ千八百三十二年ノ時ニ至リ民事目録官吏（アトヒニスタテトールテリストシビル王ノ書付ヲ以テ其所有物ヲ支配スル官吏ノ義）ヲ呼出シソノ後千八百五十二年ニ至テモ同ヒ決シテ王ヲ呼ヒ出スヿナシ

千八百四十八年千八百七十二年トモ大統領ニ對シテノ法律ハ別ニ設ケサリシ

第五項邑ヲ呼出ス時ハ邑長又ハ其住所ニ呼出状ヲ送達シ巴勒ニ於テハ州長又ハ其住所ニ之ヲ送達ハ可シ

一邑ノ一ヲ説ノ前ニ先ツ説クヿアリ千八百六年訴訟法ヲ編成スルマテハ州ハ只土地ノ分界マテニテ州ヲ無形ノ人ト見做スヿハ之レナシ故ニ州ノ一ハ此ノ法律ニ載セサリシ今日ニ至リテハ州ヲ無形ノ人ト見做ヿニナリタリ故ニ州長ヲ呼出スヿトナリタリ

州長ハ州ノ名代人ナリ又政府ノ名代人ナリ故ニ人民又ハ他州ヨリ此州ヲ相手取ルトキハ州長ハ州ノ名代人トナル又州ヨリ政府ヲ

司法省

相手取ル時ハ州長一人ニテ州ト政府トノ名代トナルヿ能ハス故ニ州長ハ政府ノ名代トナリ州ノ名代人ハ州會議院中ヨリ撰ミ出ス

右ノ名代人ヲ撰マサル間ハ州會議院ノ長之レヲ為ス

邑ニ所有物アリ右ニ付キ訴アルトキハ邑長ニテ邑ノ名代人トナル

邑ヨリ州ヲ相手取ルトキハ州長ハ州ノ名代人トナリ邑長ハ邑ノ名代人トナル州ヨリ邑ヲ相手取ルトキモ亦同シ尤モ此例ニアラサルモノアリ「巴里」「リヨン」之レナリ

巴里ハ二十「アルロンヂスマン」アリ一「アルロンヂスマン」毎ニ長アリ右ノ如ク邑長数人アリテ其長ハ一府ノ名代人トナルヿヲ得ス故ニ州長ヲ「リヨン」モ巴里」ト同シキユヘ州長ヲ相手取ルナリ

右ニ付テ少シク面例ナルヿアリ若シ州ヨリ巴里府ヲ相手取ルトキ州長一人ニテ州ト巴里府トノ名代人トナルヿ出来サルナリ

司法省

但シ巴里ノ規則ハ人民ヨリ巴里ヲ相手取ルトキハ州長之レニ代ル

ソノ時ハ権カアル方ニ依テ州ノ名代人トナリ邑ノ方ハ邑會議院ヨリ名代人ヲ撰ムナリ

千八百四十八年マテハ巴里ノ州長ヲ称シテ「メール」サンダラール（中心邑長ノ議）ト云フ今ハ否ラス

ソノ所以ハ州長ハ巴里ノ邑會議院ニ上席セス別ニソノ上席人ヲ撰ムフニナリタリ故ニ其名ナシ

巴里ヲ此ノ如ク區分スルハ一人ノ「メール」（邑長）ニテ廣キ首府ヲ惣轄スレハ人民ノ不便利ヲ生スル故ナリタトヘハ婚姻死去ノ届等ヲナス遠隔ノ地マテ往来セサルヘカラサルヲ以テ不便利ナリ

司法省

第六十九條

此五箇ノ場合ニ於テハ呼出狀ノ副本ヲ受取リタル者其正本ニ検印ス可ニ若シ之ヲ受取ル可キ者其所ニ在ラス又ハ其所ニ在リト雖ト検印ヲ為スヿヲ肯セサル時ハ治安裁判所ノ裁判役

又ハ初告裁判所検事其検印ヲ為シテ其呼出状ノ副本ヲ受取ル可シ

本條ノ五項ハ他テ無形人ニ對スルモノヲ云フ右ハ人ニ對スル呼出状ト違ヒ政府ヲ呼出スストキニ於テハ官吏ノ身ニ切実ナラサルニ〻急り務ナリ故ニ官吏ノ身ニ深ク忘レサル為メニ検印セシムルナリ過日説キタル本人并一家不在ノ時近隣ニ送達シ検印セシムルハ使吏ヲ疑フニハアラス請取リタルモノ、等閑ニセサル為メナリ

司法省

民法ノ講義ニ於テ義務ノ生スル五根元ヲ説キタリ此ケ條ハ前キノ五根元中ノ何レニ入ルヘキヤトイハヽ契約ノ部ニ入ル即チ代理ヲナスノ契約トナレ

第一ハ縣令

第二ハ官吏

第三ハ公舎等ノ支配人

第四ハ皇帝ノ私有物支配

第五ハ邑長等

右等ハ他テソノ職ニ任シタル節既ニ代理ヲ

為スノ契約ヲ生シタルモノトス

若シ右等ノ官吏ニテ請取ルヿヲ欲セス又ハ不在ノ時ハ治安裁判所ノ裁判官又ハ被告裁判所ノ検事ニテ請取リ検印ヲイスナリ

其官吏ニテ拒ムヿハ甚タ稀レナリ然レトモ時ニヨリソノ呼出状ヲ見テ縣邑等ノ官吏ニテ此レハ他ニカヽルヿニ付キ請取ラスト故障ヲ云フ時ハ使吏ニテハソノ当否ヲ弁別スルヿ能ハサルユヘ裁判官又ハ検事ニ渡スナリ

司法省

公権ヲ以テ長官ヨリ品物ノ注文等ヲ申付ルヿアリソノ事件ニ付呼出状ヲ會計局ノ官吏ヘ送達スルニ右官吏ニ於テ我レハ此事ヲ知ラスソノ省ノ長官ヲ呼出スヘシト云フ如キ之レナリ

検事又ハ治安裁判官ニ渡シタル上ノ送達ニ付テハ拒ムヿ能ハス故障アレハ裁判所ヘ出テ述ヘサルヘカラス万一ソノ時ニモ日限中ニ裁判所ヘ出サレハ欠席裁判トナリテ邑長ナレハ一邑ノ責メヲ一身ニ受クルナリ

検事又ハ治安裁判官ト定メタルハ使吏ノ使利ノ為メナリソノ送達ス可キ距離ニ於テ「カントシ」ナレハ治安裁判官ノ方近シ巴里等ニテハ検事ノ方近シ何レニテモ其便利ノ方ニ渡シテ然ルヿ

「ジウゲトヘー」ニテハ心ス請取ルヿナリ何トナレハ官録アリ不拔ノ権ナシ拒ハヿ能ハス

「邑長メール」ハ自由ニ議論スルヿヲ得ル

第六十九條　第六項

商社ヲ其社ヲ結ヒタル時間呼出ス時ハ其商社ノ家ニ呼出状ヲ送達ス可シ又既ニ商社ヲ解キタル後ハ其社中ノ者又ハ其住所ニ之ヲ送達ス可シ

司法省

商社モ亦無形人ナリ

此項箕譯誤マリタリ

商社ヲ結ヒソノ家ノ定マリテ存在スル間ハ其商社ノ家ニ送達ス可シ若シ定マリタル所ニ送達ス可ラスト云フヿナリ

商社ノ家ナキ時ハ其社中ノ人又ハ其人ノ住商社ヲ解キタルトキノヿハ書ヲ無之併シ惣

會計ノ仕揚ヶ無之間ハ即チ此條ニ循フナリ

商社ノ家ノナキトヽヱフヿヲ説カン

タトヘハ肥前ノ陶器ヲ東京ニ出シ賣シト

數人約束シテ運輸スルモノアリ肥前ニモソ

ノ會所ナク東京ニモ其會所ナシ併シ數人

約束シテ商ヲナストキハ即チ其社ハ有

ルナリ

商社ノ存續スル間トヽフヿヲ説カン

商社ヲ立ツルトハ社ノ為メニスルニアラ

ス解キタルトキ一人ニヨリ勘定ヲ取ル

ヿニテハ甚タ取ル人ノ迷惑ナリ故ニ惣勘

定ノ済ムマテハ法律上ニ於テ其社ヲ解カ

サルモノト見做シテソノ社ヨリ勘定ヲ取

ハ様ニ定メタルナリ

右ノ譯ニ於テハ裁判ノ都合ノ為メヨリハ人

民ノ都合ノ為メヲ重シスルナリ

民法五百二十九條ヲ參照スヘシ

既ニ會社ヲ結ヒ銘〻動産不動産ヲ差入レタ

ルトキハ即チ會社ノ動産不動産ニテ一己ノモ

ノニアラス故ニ其不動産ハ書入シテ一己ニ金

司法省

ヲ借ルヿヲ得ス

會社ニ於テ民事商事ノ別アリ

商社ヲ結フニ既ニ持込ミタル動産不動産ハ會社ノモノナレトモ民事ハ否ラス其所有物ヲ持込ミタリトモ矢張リ各自ノモノナリ

民事商事全ク別ナリ商業會社ハ無形ノ人ト看做セトモ民事會社ハ無形人トセス

商社ニテハ持込ミタル財産ハ商社ノモノナレトモソノ分前金ハ各自ノ利トナル

司法省

タトヘハ幼年ノモノ商社ニ入ルニ元来相當ノ裁判所ノ允許ナクシテハ幼年ノモノニテ不動産ヲ費ルヿヲ得スト雖モ商社ニ入リタル上ハソノ手数ヲ経スシテ費ルナリ之レハ商社ノモノニシテ且動産ト見做セハナリ

民事ノ社ニ於テハ前文ノモノヲ費ルヿ能ハス有形ノ人ナレハナリ

會社ヘ入レサル財産ハタトヒ其社分散スルヿアリトモ其分散中ニハ入ラス既ニ社ニ入レタル丈ケノモノハ其分散中ニ入ルナリ

社ニモ種々アリ株金差入會社ニ於テハソノ社ニ入レタル金丈ケニテ済ム

有名會社ニ於テハ銘々ノ身代ノ有ル丈ケ分散中ニ入ル

幼年ノモノハ商社ニ入ル權ナシト雖モソノ父ニ於テ既ニ社ニ入リテ後死去シタル時ハ其子ソノ相續人トナルニ付テ社中ニ入リ居ルナリ元ヨリ幼年ニテ入社スルヿハ出来サルナリ

商社ニ入ルニ銘々差入レタル動産不動産

司法省

又ハ其社ノ金ニテ買得ルモノハ皆其商社ノ所有ナリ

ソノ義務ハ如何ナルモノト云フヿハ動ク者ニテ義務ナリ故ニ自己ノ物トナスハソノ分前金丈ケナリ

法律上ニ於テ何故ニ民事ノ會社ト商業ノ會社ト如此區別立テタルヤトイハヽソノ商社ト取引スルモノニ於テ十分慥ナルモノトシテ信用セシムル為メニ立テタルモノ故社外銘々貸シ金アル者ヨリ其

社ヘ掛リ取ルヿハ出来サル為メニ為ニタル
ナリ
然レトモ民法五百二十九條ニ云フ如クソノ
社ヲ解クトキハ所有ノ権ハ全ク消滅スル
ナリ本條ニ基キ説ク
會社ノ存續スル迚トナスヤハ銘々ソノ金
ヲ持チ去ルナリソレカ為メ社金ト私金ト混
淆シテ社ト別合タルモノヽ迷惑トナル故ニ
法律上ニ於テ惣勘定ノ済ムマテハ會社ノ存
續スルモノト見做シテ其社ニ送達スルナリ」

司法省

此事ニ付テ議論アリ前文ノ通リ會社ニ商
事ト民事トノ別アレハ今之レヲ行ハン商事
ノ方ニ從ハン欤民事ノ方ニ從ハン欤
民事ノ會社ニ於テソノ家ヲ立ツルニソノ家
ハ誰ニ属スルヤト云ヘハ其社中ノ各人ニ
属スル尤モ出金高丈ケツヽ属スルナリ
故ニ右會社ノ一人ニ於テ分散トナルトキハ
ソノ高丈ケ即チ分散中ニ入ル
佛国ニ於テ民事ノ會社モ全ク商社ノ如クス
可シトノ論アレトモ立法官ニテ未タ其論ニ從

ハス

民事會社ノ不都合ナルヿハ社中ノ一人分散シタルトキハソノ社中ノ関係トナリ迷惑ヲ蒙ムルナリ

委シキハ會社規則ヲ見可シ

民事商事ヲ別ニ立テタル原因ハ如何トイレハ古ヘハ社ヲ無形人ト看做ナスヿヲ知ラサリシ古トテモ民事商事ノ社ハアリタレトモ有形人ヲ以テ取扱フナリ

革命後稍ヤク商社ノミ無形人トナスヿヲ論シ出シタリ

司法省

農業會社ニ於テ無形人トナサハソノ中ノ一人借金スルニ土地ハ其社ノモノニテ動カスヿヲ得ス不都合ナルヘシトノ説アレ共無形人ノ方都合ヨロシソノ人ノ為メニハ分前金丈ケヲ自由ニシテ土地ハ動カスヿヲ得サラシムレハナリ

第六十九條　第六項餘論

此第六項設立宜シカラス第一句誰レヲ防クト云フヿナシ第二句ハ場所ニ人ニ分明

ナレトモ第一句ハ場所丈ケ有ッテソノ人ヲ言ハス

凡ソ會所ノ有ル商社ニハ必ス支配人ハ有ルモノナリ故ニソノ支配人ニ渡スヲ可トス記セサルヲ得スソノ會所ノナキトキハ銘々支配人ナリ誰ニ渡シタリトモ苦シカラス前文ニ誰レト人ノ指シテ書サルハ書キ落シナク故ニ又ハ支配人ニト書キ入レヘシ

過日説キタル如ク使吏途中ニテ被告人ヘ逢タルトキハ途中ニテ渡シテモヨロシト故ニ支配人ニ途中ニテ渡シテモヨセレトス會所ナレハ誰レニテモ渡シテ苦シカラス但シ支配人ノ宅ヘハ送達スルヿ相ヤラス

司法省

第六十九條　第七項、

家資分散人ノ連結セシ債主ヲ呼出ス時ハ其管理者又ハ其住所ニ呼出狀ヲ送達スヿ

此第六第七ハ取分ケ商人ニ係ルナリ右ニ付キ少シク其ノ分散ノヿヲ談セン

分散トハ拂ヒノ止マリタリト云フ迄ニテ到底行キ盡キタリト云フニハアラスソノ譯ハ人ニ拂フヿ能ハサルトモ亦人ヨリ取ルモノナキトハ云フ可カラス

商人ニテハ商事ニカヽル義務モアレハ民事ナヽル義務モアリ故ニ其ノ拂ノ差支タル旨ヲ裁判所ヘ自カラ届出ルニ出入帳ノ如キ差引ニ屬スル書類ヲ一切添テ出ス

萬一右商人ニテ右仕分ノ書類ヲ出サヽル代ハ債主ヨリ届出ヲ其時ハ過失分散人トナリ罪ヲ得ル銘ヽ勝手ニ分散人トスフヿ能ハス

裁判所ニテソノ差引出入ヲ取調ヘタル上ニテ分散ノ形狀アルトキハ其方ハ分散ト言渡スナリ

右分散ノ形狀アリテ届出タル上孫分散人ト言渡サルヽ迄ハ自カラ其財産ノ運用ニテ可ナリト雖モ言渡サレタル上ハ監財人カ付キ自カラ運用スルヿ能ハス

右ノ分界ニテソノ人ノ権利モ右ノ如ク遠フナリ届出タルヨリ言渡サル、迄ハ凡ソ三日位ナリ

監財人ハ分散人ノ為メノミニアラス債主ノ為メニモ設ケ在ルナリ

此監財人ハ分散人ト債主トノ間ニアリテ双方ノ名代トナルナリ

分散言渡ヒノ済ミタル上ニ三ツノ「アリ

ソノ事ハ一二三トツヽクフモアリ又一又ハ二又ハ二三又三ニテ済ムフモアリ

司法省

第一ノ「ハ「コンコルダー」ト云ヒテ衆債主ト寄リ相談ノ上約束トナルマテノ一事

右ハ寄相談ヲナスフハ双方ノ為メニナルフヒヘニ望ムフナリ

右「コンコルダー」ハ債主ト寄約束ヲナス所以ニテ勧解ノ如キモノナリ

ソノ打寄ルトキニ分散人ニテ分散ニ至ル次節ヲ述フルニ財主ニテ分散人ニ於テ廉恥アルカ又ハ才能アルカ又ハ人ヨリ得ヘキ金額ノ拂方ヨリモ多クアルトキハ分散人ヲ引立ル

相談ヲナス但シ前文ニ及ヒタルモノ等ノ節ハ直チニ分散スルヿアリ

又自分不束ナルヿナクシテ人ノ為メニ分散トナルヿアリタトヘハ甲ニ金ヲ貸シ置クニ甲ヨリ乙ニ金ヲ貸シ右乙ニテ分散トナル為ニ債主ヲ分散トナルヿアリソノ時ハ債主ニテ甲ノ行立様ニ世話ヲナシテ遣ルヿアリ

分散トナルトキハ必ラス監財人財産目録ヲ作ルヘシソノ人物ノ嘘カナルモノナレハ監財人ニテ衆債主ヘ對シ金額ノ二割ノ拂ヒ其餘ハ年賦ニセントシ云フトキ衆債主ニテ分散人ハ不人物ナリ故ニ半高ヲ取リ其半高ハ見切ラントシ云フヿモアリ

以上ハ分散人ヨリ品数ヲ申立ルニ監財人ニテ発言ヲナシテ品々何々有之此ノ上年賦等ニシテ再ヒ立ツ様ニシテ被下トシ云フヿアリ

衆債主ニテ或ハ慾アリ又ハ強情等ニテ分散人ヨリ申立タルコトヲ同意スルヿハ能ハサルヿアリ故ニ法律上ニテモ必ラス同意セヨト

ハナシタトヘハ債主廿人アラハ十一人ハ意ナレハヨシ借金高ノ四分ノ三丈ケ同意ナレハヨシ

右ノ通リ人ノ數ト金ノ高ト掛ハサレハ申立テノ如ク許サヽルナリ

通常ノ一ナラハ人ノ數衆キ方ヲ取ルナレトモ金ノ高ト人ノ數ト両方ヲ合セテ言ヒタルハ注意ヒタルナルヘシ

如シ人ノ衆キ丈ケヲ取ラハ少數ヲ貸シタルモノ丈ケ掛ヒテ多數ヲ貸シタルモノヽ迷惑トナルナリ如シ金高丈ケニテ極メタラハ多數ヲ貸シタルモノヽ二人位ニテ決スレハ少數ヲ貸シタルモノヽ迷惑トナル

司法省

右佛ニテ立タル法ナレトモ當今ハ歐洲各國ニテモ之ヲ照準ヒタル法アリ

民事ニ於テハ絶テ右等ノ事之レナシ商事ハ別格ナリ

或ハ二分トカ半分トカ約束カ甘クトヒテ一應相濟ヒ自分ノ業ヲ為ヒテ居ルニ再ヒ不束ニテ身代ヲ減スルトキ前債主ヘ返スヘキ約束ノ金額ヲ減セサル様法律ヲ以テ定メアル

ナリ

此者ニテ更ニ分散トナルトキニ前債主アル上更ニ後債主ノ出来タルトキハ如何

ソノ時ニハ分散人ニ不動産アルトキハ法律ニテ前債主ヘノ引當ト看做シ後債主ニテハ右ヘ手ヲ付ルヿ能ハス

如シ不動産ナケレハ約束證印ノトキニ保証人ヲ立ツルヿアリ

其分散人初メハ種々ノモノヲ賣リタリトモ而後ノ商賣ニ付テハ債主ヨリ制限ヲ立ツルヿアリ

司法省

外国等ヘ行キ商スルトキハ何様ノヿヲナスヤ分アラサルヱヘナリ亦約束ノ仕ニ迄ムルヿナリ

未タ分散ヲナサヽル前ニタトヘハ支那人ト約束ヲナシ置キ其約束法ニ適シタルモノニテ故ムル

ヿノ出来サルトキハ即チ約束ノ通リ取引ヲナサシムル ナリ

ソノ後再ヒ分散トナリタルトキ過失分散人トナリ軽罪ヲ受ルナリ

ソノ支那人ト約シタル為メニ潰レルモ別人ト約シタル為メニ潰レルトモ再ヒ潰レタルトキハ廉恥面目ニ関スルヱヘニ刑人トナリ入獄ヲ免セラ

ル、ナリ

右ノ如ク再ヒ分散ニ至レハ法律ニ於テ罰スレトモ「コンコルダート」ナスハ二度モ三度モ差支ナシ

ソノ情ニヨリ罰セサルコトモアリ二度モ三度モ約束ヲ破ル工ヘ氣ヲ付ケル為ニ罰スルナリ

「コンコルダー」ハ裁判官ニテ言渡スカ「コンコルダー」ハ未タ裁判官ヘハ持出サス

右ハ約束シタル「ヲ裁判所ヘ届ケ出ルカ其「コンコルタ」調タル上ニテ高法裁判所ヘ出スヲ

司法省

ノ裁判所ニテヨロシト書ヲ渡スナリ

此場合ニ於テ不都合ノトキハ裁判所ニテ聞濟ムヿヲ肯ンセサルヿモアリ

二度ヨリ三度ヨリ至リテハ裁判所ニテ決シテ肯セス

最初ノ債主ハ不動産モアリ又証人モアル工ヘ多分ハ損ニナラス

不動産アレハ最初ノ債主ノ損ニハナラスト雖モ万一無之時ハ證人アリ

既ニ法律上ニテ可當ト見做ス工ヘ不動産

ニ於テハ「コンコルダー」ニ入ルニ又ハス

民事ニテハ何ノ故ニ「コンコルダー」ヲ為サヽルヤ

民事ハ食ノ為メ計リナリ別ニ物品ヲ運用シ

商業ヲ営ムニアラス故ニ直チニソノ財産ヲ取ル

ノミ

商事ナレハ利ヲ得ルノ道アル上ヘ此ノ如キヿ

ヲナシ大抵ノヿハ押付ルヿモアルナリ

民事ノ分散ニ於テモ時ニヨリ相談スルヿモ

アレハ銘々ノ勝手自由ナリ

既ニ裁判所ニテモ聞済ミ約束ノ調フタル

司法省

上ニソノ年賦第一ノ期ニ至リ約ニ遠ヒ佛ハ

サレハソノ廉ニテ右ハ消滅スルナリ

尚一「コンコルダー」ノ業タル上ニ詐偽分散ナ

ルヿノ発覺シタルトキハソノ一事ヲ以テ取

消トナル

元ヨリ詐偽ナルヿヲ知リタルトキハ「コンコルダー」

ニハナラス故ニ「コンコルダー」ヲナシタル日ヨリ消

滅スルナリ

分散言渡ヨリ「コンコルダー」ニ至ルマテノ間ニ訴

ヘノ起ルヿアラハソノ時ハ分散人ヲ相手

取ルヿハナラス監財人ヲ相手取ルナリ

第二ノ事

萬一「コンコルター」ノ調ノハサルトキ又調ヒタリトモ詐偽等ノ知レテ裁判所ニテ肯シセサルトキハ第二ノ事ニ移ルナリ

今迄ノ間ハ別ニ名目ナシ之レヨリ後ノ事ハ「ユタメエニヲン」ト云フ人ノ聚マリタルトスフ義ナリ以下ハ分配會計ノヿニ至ルナリソノ財産分配出入等ヲ仕分ケスルナリ

ソノ間ニハ監財人居リテ受取渡シヲ為ス

司法省

一箇肝要ナルヿヲ云ハン

今散人ノ高品澤山アルニ一時ニ賣レハ下直ナリ故ニ監財人ニテ此品ヲ賣リ切ルマテハ今散人ニアラサル分ニナル度ト願フトキ之レヲ許スヿアリソノ時ハ衆債主打寄リテ高ヒスルモノト肯做スナリ

タトヘハ一ツノ製造場アランニ澤山ノ品物ヲ一時ニ賣レハ下直ナリソノ時分散人ニテハ早ク片付ケ度ト思フナレモ債主ニテ監財人ノ言ヲ聞キ尤ト思フトキハ相談ヲナシテ開店シ

テソロミト賣ルフモアリ

商賣ノ續クト續アサルトノ見定メハ甚タ難シ故ニ衆債主ニテ相談フナスナリ

ソノ相談ノ時ハ人ノ數モ金ノ高モ四分ノ三ニ至ラサル可カラス第一ノコンコルターノ時ヨリ人ノ數ヲ多クスルナリ

此相談ニ至リテハコンコルターノ時ヨリ一層重クナルユヘナリ

此相談ハ不意ノフナリ元ト債主ノ集會ハ品ヲ取調ヘ配分セントノ為メナリ然ルニソノ中ニソロミ賣ルノ相談トナルユヘナリ

右等ノ場合ニテ當人ハ全ク関セスヤ又ハ監財人ニテ當人ニ代リテ申立ルヤ

第二ノ事ハ全ク監財人ニテナスナリ第一ノ事ノ時ハ當人モ頭ヲ出スナリ此監財人ハ則チ商人ニテ當人ヨリハ立派ニ仕分ノ出来ルモノナリ

如シ相談調ノテ引續ク商ヒノ時ハ裁判所ニテモ関スレハ弥分散トナルトキハ裁判所ニテハ一切関セス

裁判所ニテハ相談ノ出来クル上ニテ関済

司法省

ムト聞ク マサルニアリ

更ニ餘論ヲ陳ヘントス未タ知ラス緊要ナリヤ否

一事ニ注意セサルヘカラサルヿアリタトヘハ十五年專賣免許ヲ得タルモノソノ年限中ニ分散人トナリタルトキソノ十五年間專賣ノ權ヲ得セシムヘキカ又ハ製造品ノ庫中ニアル丈ケヲ賣ラシムヘキヤ（右ハ十五年間ノ專賣ヲ為メヲ得ル故ニ別債キ製造苦シカラス）

タトヘハ日本ニテ桑ヲ植ヘ製絲ヲナサントスルニソノ業ノ半ハニ至リ潰レタルトキ債主ニテソノ資本トナルヘキ諸品アルニ於テハ後來ソノ業モツキ金モ取レハト見込ムトキ債主ニテ承知ニテ業ヲナサシムルニ數年ノ後負債ヲ消却スルトキハ終ニ分散セスシテ止ムヿアリ

司法省

監財人ニテ支配スル中ニソノ監財人ニ潰レテ再ヒ分散スルトキハ監財人ニテ分散トナルヿリ

初相談ノ時四分ノ二ハ承知スル人ニテソノ餘

ノ不兼知ノ人ハ再度分散ノ損ハ受ケス四分
ノ三ノ兼知セシ人ニ平均ヲ掛ケラ損ヲナサ
シム
以上第二ノ事ナリ
専賣中他人ニテ右ヨリ一層上ヘノ発明ヲ
ナストキハ此専賣ハ衰微シテ賣レサルア
リ
専賣中ソノ人ニアラサレハ出来サルモノアル
可シ右等ノ人ノ分散トナリタルトキハ如
何スルヤ

司法省

ソノ時ハ一ケノ職人トナリ又ハ製造所
ノ雇人トナルナリ
若シ此後商法ノ續カサルト見留メタルト
キハ製シ出シタル品ヲ糴賣シ併セテ專
賣免許ヲモ受ルヿアリ
第三ノ事
第二ニ於テ分配ヲ済マシタル上残リ負債
高何程ト書付ケヲ作リ夫々債主ヘ渡シ
済ミトナル此所ニテ監財人ノ職ハ終ル
第三ノ事ニ於テハ瑣事ナレトモ之レヲ一ツノ

事トナシ三ツノ事ニ分カタサルヲ得ス何ト
ナレハ分散人ニテ身代ヲ取リ直シタル時ハ債
主銘ニ自カラ行テ取ルナリ故ニ残リ高ノ
書付ハ肝要ナリ之レニテ第三ヶ條畢ル
其後銘ニニテ取ル節ニ至リテハ取リ勝ナ
リ故ニ中ニハ取ルヿノ出来サル債主モアリ
分散シテ一品モナク監財人ヲ立ツルヿモ出
来サルヿアリソノ時ハ銘ニヨリ貸シタル金ト
見切ルナリソノ名ヲ入額ノ不充分ノ結局コロ
チール、ブール、アンシヒサンテ、アクチーレス、ト云フ

司法省

分散人屬家ヲ相續スルトキハ債主ニテ
銘々行テ取ル
分散人ノ跡ハ相續スルモノ絶ラアルヿナシ
若シ相續スレハ債主ニテソノ相續人ヘ掛ル
ナリ

七年五月三十日

今日ハ呼出状ノ分ハ説キ盡サントスソノ後ハ裁判言渡ト欠席裁判ノ一ヲ説キ次イテ控訴ノ事ヲ説カントス

訴訟法中ニ首タル訴訟ト添タル訴訟トアリ先ツ首タル分ヲ説キ次イテ添タル訴訟ヲ説カントス　勸解ノ一　呼出ノ一　裁判言渡ノ一　欠席裁判ノ一　故障ヲ申立ル一　別人ヨリ故障ヲ申立ル一　控訴ノ一　大審院ヘ控訴ノ一ト順次ニ説カントス

過日家資分散ノ一ニ付テ三ツノ事アル一ヲ説キタリソノコンコルダーニナルノ間ト云ノ一ハ此法律書ニ無之先ツ之レヲ説カン

訴訟法ハ一千八百六年ニ編集シ一千八百七年ヨリ施行セシモノナリ

商法ハ一千八百八年ニ編成セシモノナリ依テ此コンコルダーハ訴訟法ニナキナリ

第六十九條　第七項ハ六ケシキ事無之

家資分散人ノ連結セシ債主ヲ呼出ス時ハ其管理者又ハ其住所ニ呼出状ヲ送達ス可シ

司法省

商法ニハコンコルダーニナル間ノ手續有之
（商法第四百九十二條ヲ見合スヘシ）
連結セストモ即チ監財人ヲ呼ヒ出スヤ
債主連結セスシテ只一人ナル丨ハ弥ントナ
キ丨ナリ

第六十九條　第八項

佛蘭西國内ニ分明ナル住所アラサル者ヲ呼出
ス時ハ其寄居スル場所ニ呼出狀ヲ送達スヘシ
若シ其寄居スル場所ノ知レサル時ハ訴訟ヲ審
判スヘキ裁判所ノ訟庭ノ最大ノ門扉ニ呼出狀
ノ副本一通ヲ貼附シ又一通ヲ檢事ニ送達シ檢
事其正本ニ検印ヲ為スヘシ

此一項中ニ難事アリ原告人ニテ何レノ裁判
所ヘ訴ヘテ可然ヤヲ見出ス丨能ハス
物件ニ付テノ訴訟ナレハソノ所在ノ地ノ裁
判所ヘ訴フルノ原則ナルヱヘ面倒ナル丨ハ
無之
佛國ニ於テモ住所住居ノ知レサルニ付キ使
吏ニテ間違アル丨時ニ有之原告人ノ中立ニ
ヨリ直チニ執行ノヱヘナリ

司法省

ソノ住所住居ヲ穿サクスレハ知ル可キモノヲモ粗忽ニ執行ツテ欠席裁判トナリツノ後被告人ノ住所住居ノ知ル可キ確證アルトキハ使吏ハ相當ノ罰ヲ受ケソノ裁判入費ハ原告人ヨリ償却ス

タトヘハ東京ニ住ムルモノアリ東京元ヨリ廣ク容易ニ尋子得可キニアラスソノ時ハ東京府并ニ各區ノ役所等ニ依頼シテ之レヲ尋子弥知レサルト定マリタル上ニテ執行ス

タトヘハ絹商麺包店又ハ人足等支ヘソノ同業ノモノハ勿論穿サクスヘシ

此穿サクハ使吏并ニ原告人ニテナス

タトヘハ旅居ニアルモノ又ハ一時下宿等ノモノト契約ヲナスモノハソノ旅居并ニ下宿ノ主人ニ訪ヒ行ク先キノ知レサルトキハソノマヽ執行フテ若シカラス右ハ東京ニ住居ヲ定メサルモノナレハナリ

タトヘハ辻輕業師又ハ田舍芝居等ノモノ一時東京ニ出テ興行シタルトキ等ハ直チニ執行若シカラス尤モ一應興行セシ隣家ヲ尋ヌ

司法省

ルナリ右等ハ固ヨリ東京ニ住居ノ定マラサ
ルモノナレハナリ
佛國ニ於テ住所ノ定マラサル婦人アリ借金
ノタマリタレハ直チニ他ヘ轉ス其宿ニタル
内ヲ尋子テ得サレハソノマヽ執行スルナリ
但有名美人ノ如キハ格別ニシテ尋子得ルヿ
モアルト雖尋子得ルヿ甚タ少シ
右等ニ於テモ粗忽ニナス可カラサルモノナ
リ故ニ法律ニ於テ保護シテ欠席裁判トナラ
サル様ニ注意スルナリ

前文ノ如キ場合ニ於テ呼出シヲ知ラサル為
メニ欠席裁判トナリタリトモソノ執行ノ以
前ニ知得スルトキハ故障ヲ申立ツルヿヲ得
ルナリ
タトヒ欠席裁判ノ言渡ヲナストモ物品ナケ
レハ執行フヿ能ハスト雖ドモ万一何レヨリカ
物品ヲ尋子出ストキハ執行フヿヲ得ルナリ
ソノ執行マテニ被告人ニテ欠席裁判トナリ
タルヿヲ知得スルトキハ即チ故障ヲ申立ル
ヿヲ得ル

司法省

到底現場ソノ人ヲ見出サヽレハ執行フイヲ
得ス
被告人ニ於テハソノ執行ヲナス迚ニ故障ヲ
申立ツルナリ
ソノ訴訟入費ハ執行マテハ出サヽルナリ
右ノ場合ニ於テ被告人ニテ他人ヘ金ヲ貸シ
タルモノアルトキハ原告人ヨリソノ借リ主
ヘ斷ハリソノ金ヲ差押ユルイアリ欠席裁判
トナリタルトキ原告人ニテソノ人ノ貸シ金
アルヿヲ知リタルトキハ法律上ニ於テ取押

司法省

ノ手續ヲナシタル上八日間門扉ニ貼スソノ
後ニハ原告人ニテソノ金ヲ取ルナリ
右ノ執行濟ミタル後被告人ニテ何ノ所ロニ
住居スルト云フコトノ證ヲ立テ全ク原告人ノ
粗漏且故意ヨリ出テタルトキハソノ入費ハ
使吏ニテ出スヤ又ハ原告人ニテ出スヤ
ソノ時ハ被告人ニテ原告人ニ掛ルナリソノ
手續キハ一席ノ吐ニ盡スヿ能ハス
ソノ時ニ於テ原告人ノ偽計ヨリ成リ使吏モ
粗忽ニテ遂ニ前文ノ場ニ至リ故障ノ日限モ